

八街市総合計画策定
基礎調査報告書

平成 16 年 3 月

八 街 市

目 次

市民意識調査	3
第1章 調査の概要	5
1. 調査の目的	5
2. 調査の方法と回収結果	5
3. 集計について	5
4. その他	6
第2章 回答者の属性	7
1. 性別	7
2. 年齢構成	7
3. 職業別	8
4. 居住年数別	8
第3章 調査結果	9
1. 満足度	9
2. 優先的に実施して欲しい施策	13
3. 定住意向	15
4. 愛着度	19
5. 八街市のイメージ	21
6. 八街市の将来像	23
7. 環境を守るためにすべき施策	25
8. 防災対策として市に期待すること	26
9. 子育てを支えていくための施策	27
10. 老後の不安	28
11. 高齢者の福祉対策、生きがい対策	29
12. 自宅でのインターネット利用状況	30
13. 八街市ホームページの閲覧状況	30
14. 八街市ホームページでできたらよいこと	31
15. 参加したい「まちづくり」の市民活動	32
16. 市民参加に必要なこと	33
17. 市町村合併の可否	34
18. 八街市政への要望	38
第4章 自由意見	39
1. 土地利用・都市基盤	39
2. 生活環境	44
3. 産業経済	46
4. 地域文化	47

5 . 健康福祉	48
6 . 行政	49
第 5 章 調 査 票	52

市民意識調査

第 1 章 調査の概要

1 . 調査の目的

本調査は、今後 20 年の将来にわたるまちづくりの指針となる総合計画の策定にあたり、まちづくりに対する市民のみなさまからのご意見・ご意向や、生活環境に対する評価、並びに市政への要望を中心にお聴きし、計画づくりの基礎資料とするものです。

2 . 調査の方法と回収結果

調査地域：八街市全域

調査対象：市内在住の満 20 歳以上の男女（平成 15 年 4 月 1 日現在）

抽出方法：無作為により 3,000 人を抽出

調査方法：郵送調査法

調査期間：平成 15 年 9 月

回収状況：標 本 数 3,000 人
有効回答数 1,610 票
有効回答率 53.7%

3 . 集計について

- (1) アンケート集計は、各設問の単純集計並びに、性別、年齢、職業、居住年数、定住意向及び愛着度と各設問とのクロス集計を行いました。
- (2) 表中の比率(%)は、小数点第 2 位を四捨五入してあります。したがって、率の合計値が 100%にならない場合があります。
- (3) 設問で、「3 つまで」の複数回答については、回答者数を母数とし、比率を算出しています。したがって、率の合計値が 100%にならない場合があります。なお、各設問において、次の略称を使用しています。

S A : 選択項目は 1 項目のみ
M A : 選択項目が複数

(4) 標本誤差について

今回の無作為抽出法による場合、ここで出された数値(%)をそのまま 20 歳以上の全市民の回答として単純に置き換えると、多少の誤差が生じます。

統計学的には、次式で標本誤差率を計算して、20 歳以上の全市民の回答を推測します(信頼度は 95%)。

$$\text{標本誤差率} = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

N = 母集団数 (= 59,297 人、平成 15 年 4 月 1 日現在の 20 歳以上人口)

n = 有効回答数 (1,610 票)

P = 回答の比率

回答の比率	標本誤差率
10%または 90%	± 1.47%
20%または 80%	± 1.97%
30%または 70%	± 2.25%
40%または 60%	± 2.41%
50%	± 2.46%

(5) 指標化について

設問のうち、『1．満足度』、『5．八街市のイメージ』については、設問間の差や全体の水準をはかるため、重みづけを行い指標化しました。重みづけの評点については、以下の方法で計算しています。

指標の表示は、『1．満足度』では小数点第3位を四捨五入して、『5．八街市のイメージ』では小数点第2位を四捨五入して表示してあります。なお、これら重みづけの配点については、前回調査との比較のため、前回調査と同じとしています。

『1．満足度』の指標化

$$\left. \begin{array}{l}
 \text{「満足」の回答数} \times 2 \text{点} \\
 \text{「どちらかといえば満足」の回答数} \times 1 \text{点} \\
 \text{「どちらかといえば不満」の回答数} \times -1 \text{点} \\
 \text{「不満」の回答数} \times -2 \text{点}
 \end{array} \right\} \text{の合計} \Bigg/ \begin{array}{l}
 \text{「わからない」} \\
 \text{「無回答」を除く回答総数}
 \end{array}$$

したがって、満足度指数は、上限「2」（満足）、下限「-2」（不満）で、中間値は「0」となります。

『5．八街市のイメージ』の指標化

$$\left. \begin{array}{l}
 \text{「そう思う」の回答数} \times 3 \text{点} \\
 \text{「やや思う」の回答数} \times 1 \text{点} \\
 \text{「さほど思わない」の回答数} \times -1 \text{点} \\
 \text{「思わない」の回答数} \times -3 \text{点}
 \end{array} \right\} \text{の合計} \Bigg/ \begin{array}{l}
 \text{「無回答」を除く回答総数}
 \end{array}$$

したがって、イメージ指数は、上限「3」（そう思う）、下限「-3」（思わない）で、中間値は「0」となります。

4．その他

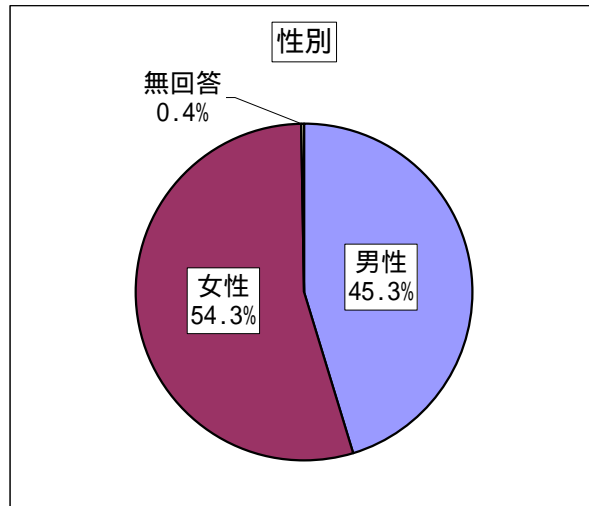
八街市では、平成6年5月及び平成10年6月に住民意識調査を実施しています。そこで今回の調査と同じ(あるいは類似の)設問については、これらの調査との比較を行いました。なお、本文中では平成6年5月実施の調査を前々回、平成10年6月実施の調査を前回と略記しました。

第2章 回答者の属性

1. 性別

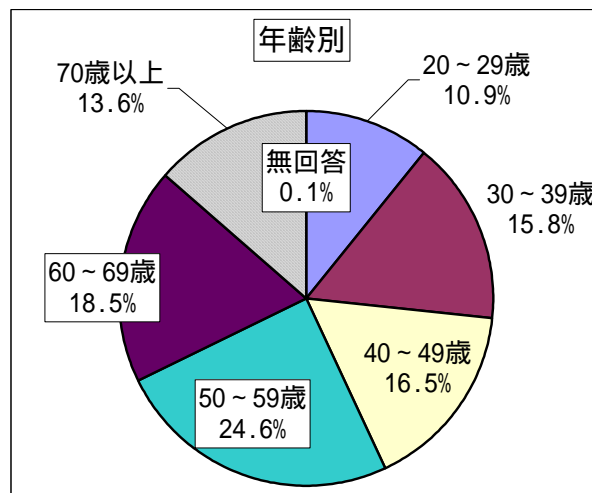
男性が45.3%、女性が54.3%で、女性の方が9ポイント多くなっています。

これを年齢別に見ると、20歳代から60歳代までは、女性が50%台、男性が40%台ですが、70歳以上では、男性38.4%に対し、女性60.7%と22.3ポイントの差となっています。



2. 年齢構成

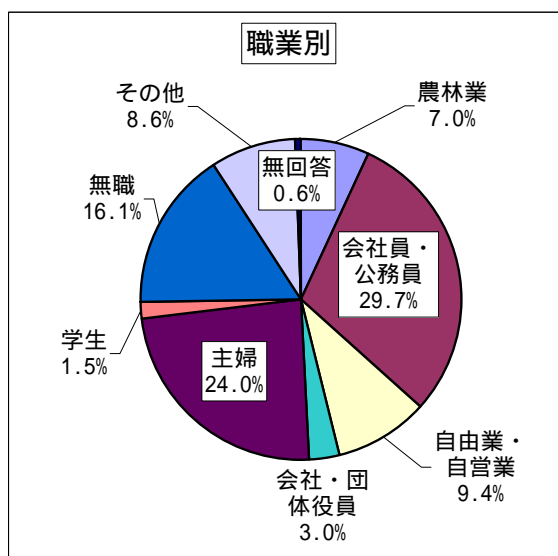
50歳代が24.6%で最も多く、60歳代(18.5%)、40歳代(16.5%)、30歳代(15.8%)と続いています。20歳代は10.9%とやや少なくなっています。



3. 職業別

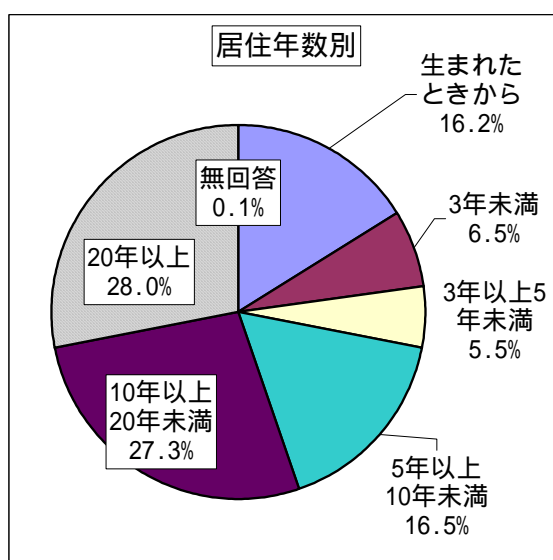
会社員・公務員が29.7%と最も多く、続いて、主婦(24.0%)、無職(16.1%)、自由業・自営業(9.4%)、農林業(7.0%)となっています。

これを年齢別に見ると、20歳代から50歳代までは、どの年代も会社員・公務員が多く、特に20歳代から40歳代までは、4割を超えています。一方、60歳代以上では主婦や無職が多くなっています。主婦は30歳代から60歳代で3割前後、自由業・自営業は30歳代から60歳代で1割前後見られます。農林業は年代が上がるにしたがい増える傾向があり、特に70歳以上では16.0%となっています。



4. 居住年数別

居住年数では20年以上が28.0%で最も多く、生まれたときからとあわせた44.2%が20年以上八街市に居住していることとなります。10年以上20年未満が27.3%、5年以上10年未満が16.5%で続いています。5年未満の人は合計12.0%となります。



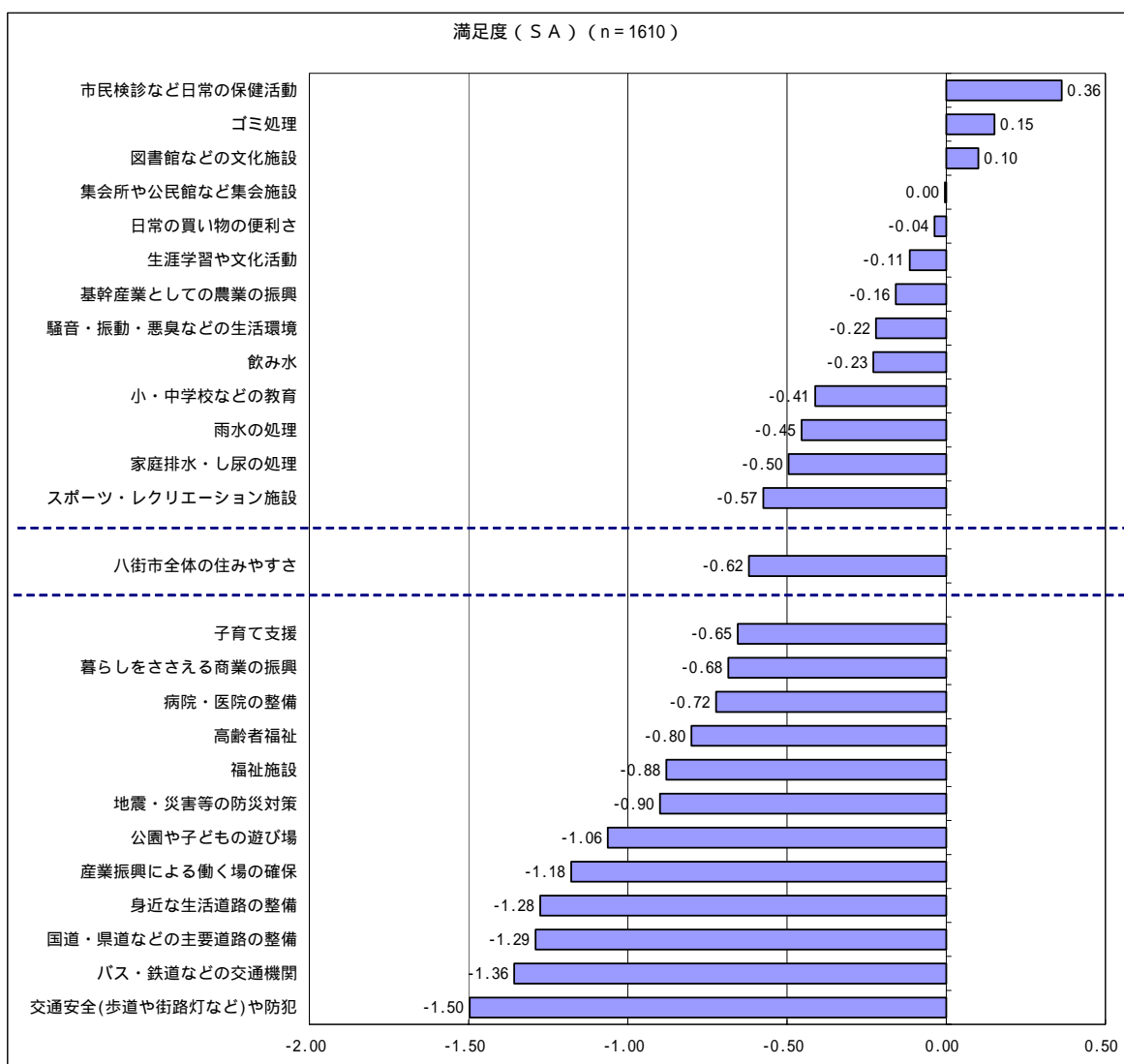
第3章 調査結果

1. 満足度

「市民検診などの保健活動」が満足度1位に「道路・交通関係」が下位に

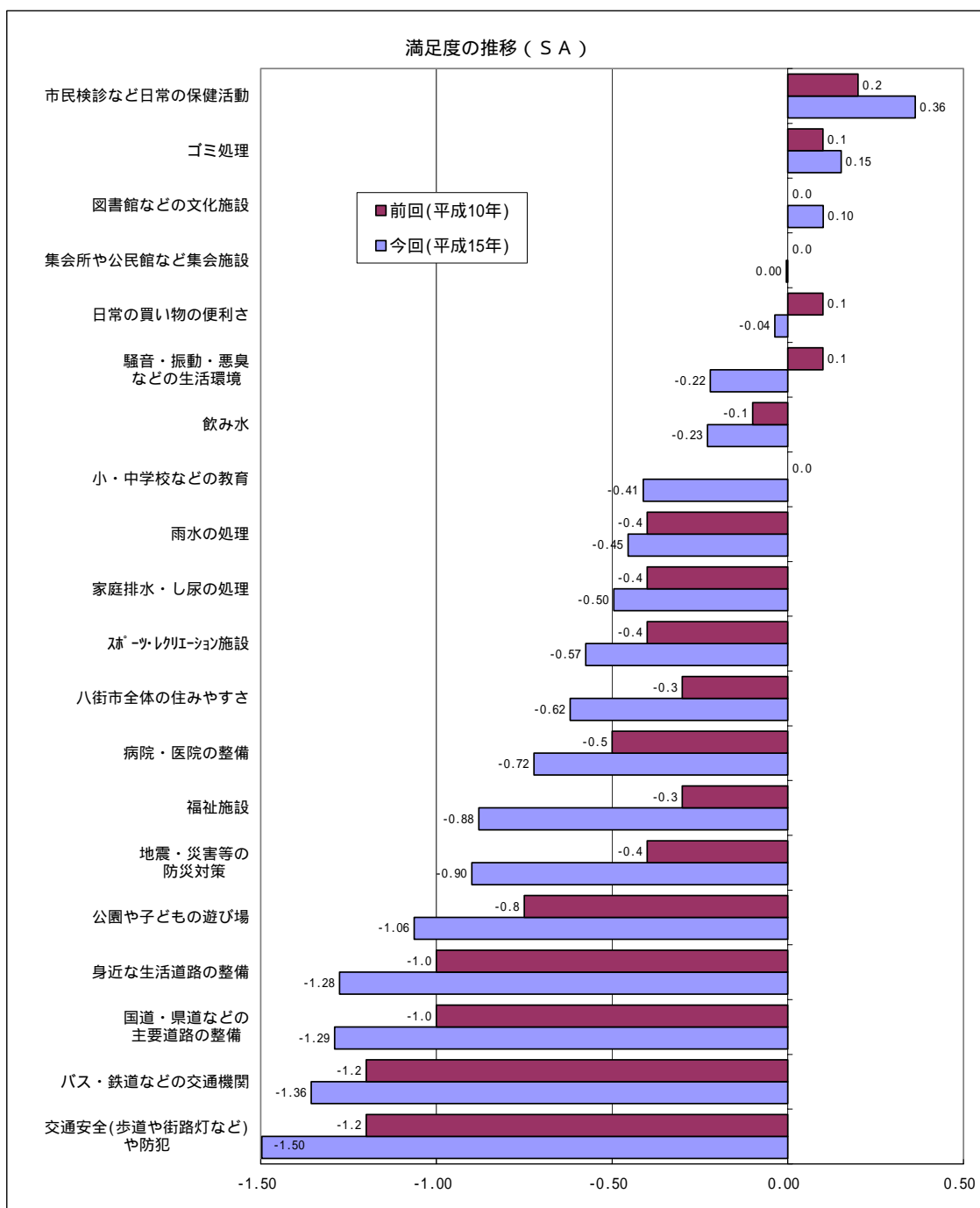
住まいの周辺環境や日常生活における満足度をみると、満足度がプラスになっているものは、「市民検診などの保健活動」、「ゴミ処理」、「図書館などの文化施設」のみです。

満足度が低くなっているものとしては、「交通安全（歩道や街路灯など）や防犯」、「バス・鉄道などの交通機関」、「国道・県道などの主要道路の整備」、「身近な生活道路の整備」と道路・交通関係が顕著です。次いで「産業振興による働く場の確保」、「公園や子どもの遊び場」までが -1 を超えています。



前回調査との比較では、前回満足度がプラスのものは更に満足度が高まり、マイナスのものは不満度が高くなる傾向がでています。これは、今回の設問で、市民の意図をより明確に把握するため中間的な答えである「どちらともいえない」という選択肢をなくしたことにより、満足度、不満度がより顕著にあらわれた結果とみられます。

そのような要因を考慮したうえで、前回と比較して悪化が著しいものとしては、「福祉施設」(0.58)、「地震・災害等の防災対策」(0.50)、「小・中学校などの教育」(0.41)、「騒音・振動・悪臭などの生活環境」(0.32)、「八街市全体の住みやすさ」(0.32)などがあげられます。



満足度が上位の項目について属性別にみていくと、性別では顕著な差はみられません。

年齢別では、全ての年代で「市民検診など日常の保健活動」への満足度が高く、また、30歳代、20歳代では「図書館などの文化施設」も高くなっています。

職業別でも、「市民検診など日常の保健活動」への満足度はどの職業でも高く、また、農業では「集会所や公民館など集会施設」、会社・団体役員では「ゴミ処理」、学生では「図書館などの文化施設」が1位となっています。

満足度が上位の項目(属性別)

		1位		2位		3位		
総計		市民検診などの日常の保健活動	0.36	ゴミ処理	0.15	図書館などの文化施設	0.10	
性別	男性	市民検診などの日常の保健活動	0.31	ゴミ処理	0.22	図書館などの文化施設	0.11	
	女性	市民検診などの日常の保健活動	0.41	ゴミ処理	0.10	図書館などの文化施設	0.09	
年齢別	20歳代	市民検診などの日常の保健活動	0.31	図書館などの文化施設	0.25	基幹産業としての農業の振興	0.18	
	30歳代	図書館などの文化施設	0.29	市民検診などの日常の保健活動	0.14	基幹産業としての農業の振興・ゴミ処理	0.00	
	40歳代	市民検診などの日常の保健活動	0.13	ゴミ処理	0.05	基幹産業としての農業の振興	0.11	
	50歳代	市民検診などの日常の保健活動	0.42	ゴミ処理	0.20	買い物の便利さ	0.19	
	60歳代	市民検診などの日常の保健活動	0.57	ゴミ処理	0.42	集会所や公民館など集会施設	0.19	
	70歳以上	市民検診などの日常の保健活動	0.58	飲み水	0.41	ゴミ処理	0.35	
職業別	農林業	集会所や公民館など集会施設	0.74	市民検診などの日常の保健活動	0.73	飲み水	0.55	
	会社員・公務員	市民検診などの日常の保健活動	0.18	図書館などの文化施設	0.10	ゴミ処理	0.10	
	自由業・自営業	市民検診などの日常の保健活動	0.58	集会所や公民館など集会施設	0.16	ゴミ処理	0.13	
	会社・団体役員	ゴミ処理	0.17	市民検診などの日常の保健活動	0.07	買い物の便利さ	0.17	
	主婦	市民検診などの日常の保健活動	0.40	ゴミ処理	0.18	図書館などの文化施設	0.03	
	学生	図書館などの文化施設	0.65	基幹産業としての農業の振興	0.33	市民検診などの日常の保健活動	0.31	
	無職	市民検診などの日常の保健活動	0.38	ゴミ処理	0.26	飲み水	0.13	
	その他	市民検診などの日常の保健活動	0.33	図書館などの文化施設	0.19	基幹産業としての農業の振興	0.14	
	居住年数別	生まれたときから	市民検診などの日常の保健活動	0.62	図書館などの文化施設	0.32	集会所や公民館など集会施設	0.31
		3年未満	市民検診などの日常の保健活動	0.43	ゴミ処理	0.34	基幹産業としての農業の振興	0.26
3～5年未満		ゴミ処理	0.18	基幹産業としての農業の振興	0.17	市民検診などの日常の保健活動	0.15	
5～10年未満		市民検診などの日常の保健活動	0.23	ゴミ処理	0.15	図書館などの文化施設	0.13	
10～20年未満		市民検診などの日常の保健活動	0.23	ゴミ処理	0.20	図書館などの文化施設	0.10	
20年以上 (生まれたときから+20年以上)		市民検診などの日常の保健活動	0.44	集会所や公民館など集会施設	0.21	図書館などの文化施設	0.16	
定住意向別	ずっと住み続けたい	市民検診などの日常の保健活動	0.58	集会所や公民館など集会施設	0.36	ゴミ処理	0.27	
	当分住み続けたい	市民検診などの日常の保健活動	0.35	図書館などの文化施設	0.29	ゴミ処理	0.25	
	できれば移転したい	市民検診などの日常の保健活動	0.10	ゴミ処理	0.01	図書館などの文化施設	0.12	
	移転したい	市民検診などの日常の保健活動	0.11	ゴミ処理	0.17	基幹産業としての農業の振興	0.40	
	わからない	市民検診などの日常の保健活動	0.44	図書館などの文化施設	0.22	ゴミ処理	0.05	
愛着度別	感じている	市民検診などの日常の保健活動	0.78	集会所や公民館など集会施設	0.46	ゴミ処理	0.38	
	やや感じている	市民検診などの日常の保健活動	0.42	図書館などの文化施設	0.31	ゴミ処理	0.26	
	あまり感じていない	市民検診などの日常の保健活動	0.20	ゴミ処理	0.07	図書館などの文化施設	0.11	
	感じていない	市民検診などの日常の保健活動	0.23	ゴミ処理	0.27	図書館などの文化施設	0.46	
	わからない	市民検診などの日常の保健活動	0.34	基幹産業としての農業の振興	0.05	ゴミ処理	0.04	

一方、満足度が下位の項目について属性別にみていくと、性別では順位の差はみられませんが、1位の「交通安全（歩道や街路灯など）や防犯」は女性の方が指数が若干高くなっています。年齢別では、全ての年代で「交通安全（歩道や街路灯など）や防犯」への不満度が高く、特に20～40歳代では指数も高くなっています。また、70歳以上では「産業振興による働く場の確保」が1位となっています。職業別でも、「交通安全（歩道や街路灯など）や防犯」への不満度はどの職業でも高く、また、自由業・自営業では「国道・県道などの主要道路の整備」、学生では「バス・鉄道などの交通機関」が1位となっています。

満足度が下位の項目(属性別)

	1位	2位	3位
総計	交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.50	バス・鉄道などの交通機関 1.36	県道・国道などの主要道路の整備 1.29
性別	男性 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.46	バス・鉄道などの交通機関 1.34	主要道路の整備 生活道路の整備 1.29
	女性 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.53	バス・鉄道などの交通機関 1.37	国道・県道などの主要道路の整備 1.30
年齢別	20歳代 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.70	バス・鉄道などの交通機関 1.66	身近な生活道路の整備 1.35
	30歳代 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.74	身近な生活道路の整備 1.52	バス・鉄道などの交通機関 1.49
	40歳代 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.71	バス・鉄道などの交通機関 1.57	身近な生活道路の整備 1.47
	50歳代 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.46	バス・鉄道などの交通機関 1.31	国道・県道などの主要道路の整備 1.29
	60歳代 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.25	バス・鉄道などの交通機関 1.22	主要道路の整備 働く場の確保 1.08
	70歳以上 産業振興による働く場の確保 1.19	国道・県道などの主要道路の整備 1.14	交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.10
	職業別	農林業 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 0.96	国道・県道などの主要道路の整備 0.88
会社員・公務員 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.61	バス・鉄道などの交通機関 1.53	身近な生活道路の整備 1.40	
自由業・自営業 国道・県道などの主要道路の整備 1.38	交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.35	身近な生活道路の整備 1.23	
会社・団体役員 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.70	バス・鉄道などの交通機関 1.47	公園や子どもの遊び場 1.44	
主婦 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.62	バス・鉄道などの交通機関 1.45	国道・県道などの主要道路の整備 1.38	
学生 バス・鉄道などの交通機関 1.79	交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.67	身近な生活道路の整備 1.58	
無職 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.30	国道・県道などの主要道路の整備 1.21	バス・鉄道などの交通機関 1.19	
その他 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.57	バス・鉄道などの交通機関 1.45	身近な生活道路の整備 1.26	
居住年数別	生まれたときから 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.20	バス・鉄道などの交通機関 1.07	身近な生活道路の整備 1.02
	3年未満 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.75	バス・鉄道などの交通機関 1.57	身近な生活道路の整備 1.42
	3～5年未満 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.86	バス・鉄道などの交通機関 1.63	身近な生活道路の整備 1.61
	5～10年未満 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.78	バス・鉄道などの交通機関 1.62	身近な生活道路の整備 1.57
	10～20年未満 バス・鉄道などの交通機関 1.56	交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.55	身近な生活道路の整備 1.30
	20年以上 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.30	国道・県道などの主要道路の整備 1.23	産業振興による働く場の確保 1.17
	(生まれたときから+20年以上) 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.26	国道・県道などの主要道路の整備 1.15	産業振興による働く場の確保 1.10
定住意向別	ずっと住み続けたい 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.18	国道・県道などの主要道路の整備 1.06	身近な生活道路の整備 1.00
	当分住み続けたい 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.53	バス・鉄道などの交通機関 1.32	国道・県道などの主要道路の整備 1.17
	できれば移転したい 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.76	バス・鉄道などの交通機関 1.72	身近な生活道路の整備 1.61
	移転したい 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.85	バス・鉄道などの交通機関 1.84	八街市全体の住みやすさ 1.75
	わからない 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.63	バス・鉄道などの交通機関 1.44	国道・県道などの主要道路の整備 1.30
	愛着度別	感じている 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.06	国道・県道などの主要道路の整備 0.96
やや感じている 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.51	身近な生活道路の整備 1.29	国道・県道などの主要道路の整備 1.25	
あまり感じていない 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.70	バス・鉄道などの交通機関 1.62	国道・県道などの主要道路の整備 1.48	
感じていない 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.86	バス・鉄道などの交通機関 1.85	身近な生活道路の整備 1.81	
わからない 交通安全（歩道や街路灯など）や防犯 1.66	バス・鉄道などの交通機関 1.52	身近な生活道路の整備 1.45	

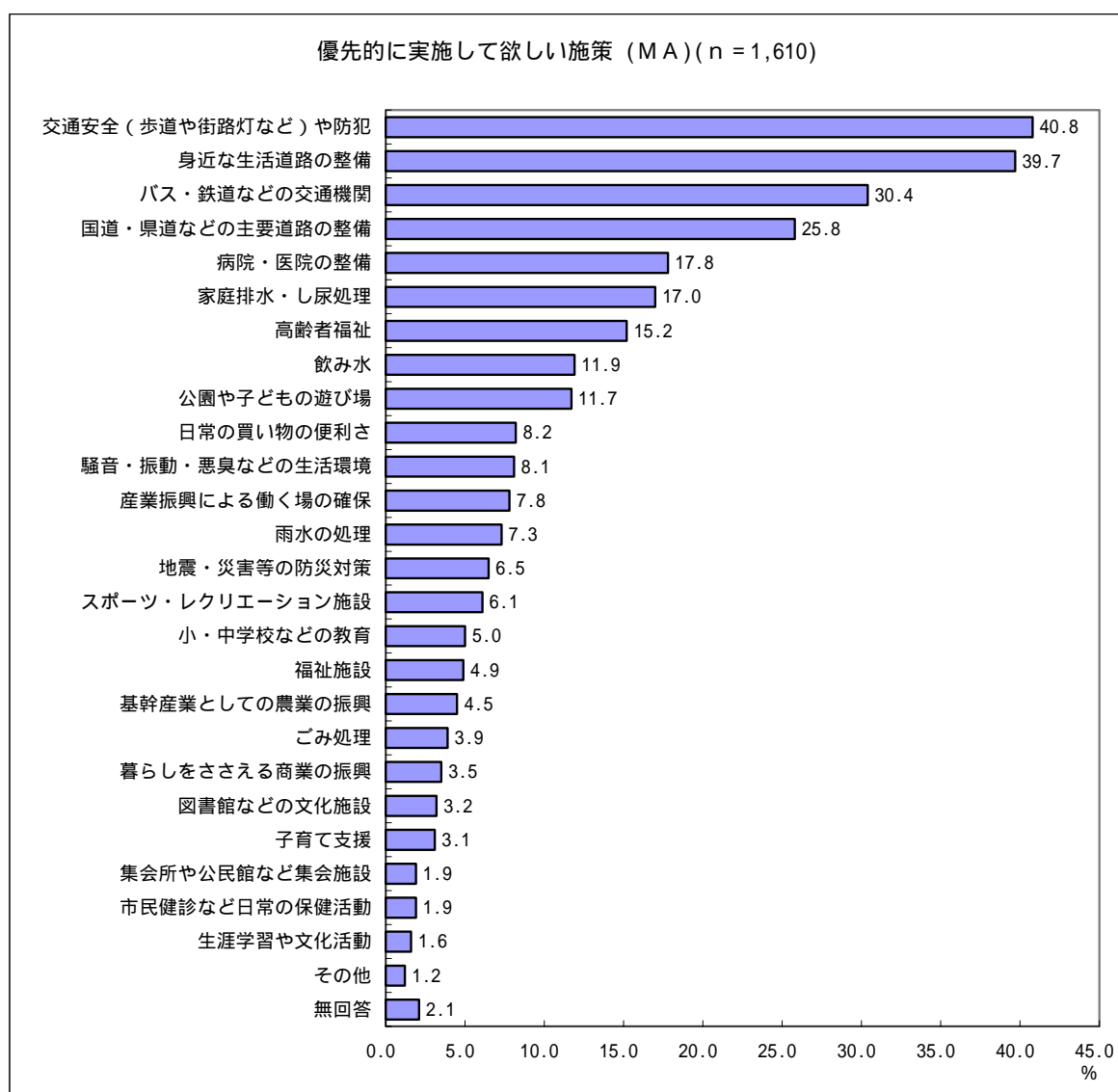
2. 優先的に実施して欲しい施策

「道路・交通関係」が上位に

優先的に実施して欲しい施策では、前項の満足度で不満の高かった「交通安全（歩道や街路灯など）や防犯」(40.8%)、「身近な生活道路の整備」(39.7%)、「バス・鉄道などの交通機関」(30.4%)、「国道・県道などの主要道路の整備」(25.8%)の道路・交通関係の4項目が上位にあります。

前回との比較では、「交通安全（歩道や街路灯など）や防犯」が前回より5.8ポイント、「身近な生活道路の整備」は10.8ポイント、「国道・県道などの主要道路の整備」は3.8ポイント上昇している一方、「バス・鉄道などの交通機関」は10.3ポイント減少しています。

次いで、「病院・医院の整備」(17.8%)で、前回(18.1%)とほぼ同じ水準です。



属性別にみると、やはり全ての属性で道路・交通関係の4項目が上位に入っています。この項目以外では、年齢別の70歳以上で「高齢者福祉」(3位)、職業別の農林業で「基幹産業としての農業の振興」(1位)が入っているだけです。

優先的に実施して欲しい施策が上位の項目(属性別)

(単位：%)

		1位		2位		3位	
総計		交通安全(歩道や街路灯など)や防犯	40.8	身近な生活道路の整備	39.7	バス・鉄道などの交通機関	30.4
性別	男性	身近な生活道路の整備	41.9	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	38.2	国道・県道などの主要道路の整備	33.2
	女性	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	42.9	身近な生活道路の整備	38.1	バス・鉄道などの交通機関	34.4
年齢別	20歳代	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	47.4	バス・鉄道などの交通機関	46.3	身近な生活道路の整備	41.7
	30歳代	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	49.2	身近な生活道路の整備	47.6	バス・鉄道などの交通機関	31.5
	40歳代	身近な生活道路の整備	44.0	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	43.2	バス・鉄道などの交通機関	29.7
	50歳代	身近な生活道路の整備	38.1	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	34.8	バス・鉄道などの交通機関、国道・県道など主要道路の整備	28.5
	60歳代	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	37.2	身近な生活道路の整備	34.2	バス・鉄道などの交通機関	29.9
	70歳以上	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	38.4	身近な生活道路の整備	33.8	高齢者福祉	25.6
職業別	農林業	基幹産業としての農業の振興	38.1	身近な生活道路の整備	36.3	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	27.4
	会社員・公務員	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	44.8	身近な生活道路の整備	44.4	国道・県道などの主要道路の整備	33.9
	自由業・自営業	身近な生活道路の整備	33.8	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	31.8	国道・県道などの主要道路の整備	28.5
	会社・団体役員	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	49.0	身近な生活道路の整備	38.8	バス・鉄道などの交通機関	32.7
	主婦	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	47.3	身近な生活道路の整備	40.6	バス・鉄道などの交通機関	34.9
	学生	バス・鉄道などの交通機関	62.5	身近な生活道路の整備	58.3	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	37.5
	無職	身近な生活道路の整備	36.9	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	36.5	バス・鉄道などの交通機関	30.0
	その他	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	37.0	バス・鉄道などの交通機関	34.8	身近な生活道路の整備	34.1
	居住年数別	生まれたときから	身近な生活道路の整備	35.6	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	33.3	国道・県道などの主要道路の整備
3年未満	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	43.3	バス・鉄道などの交通機関	41.3	身近な生活道路の整備	39.4	
3～5年未満	身近な生活道路の整備	45.5	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	42.0	バス・鉄道などの交通機関	31.8	
5～10年未満	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	51.1	身近な生活道路の整備	44.7	バス・鉄道などの交通機関	32.7	
10～20年未満	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	42.6	身近な生活道路の整備	40.8	バス・鉄道などの交通機関	40.3	
20年以上	身近な生活道路の整備	37.0	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	36.6	国道・県道などの主要道路の整備	23.9	
(生まれたときから+20年以上)	身近な生活道路の整備	36.5	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	35.4	国道・県道などの主要道路の整備	26.0	
定住意向別	ずっと住み続けたい	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	38.6	身近な生活道路の整備	37.6	国道・県道などの主要道路の整備	25.9
	当分住み続けたい	身近な生活道路の整備	42.7	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	40.1	バス・鉄道などの交通機関	32.1
	できれば移転したい	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	43.8	身近な生活道路の整備	43.1	バス・鉄道などの交通機関	40.8
	移転したい	バス・鉄道などの交通機関	47.7	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	46.8	身近な生活道路の整備	33.0
	わからない	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	44.7	身近な生活道路の整備	37.7	国道・県道などの主要道路の整備	28.1
愛着度別	感じている	身近な生活道路の整備	35.6	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	34.8	国道・県道などの主要道路の整備	23.5
	やや感じている	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	43.2	身近な生活道路の整備	42.4	バス・鉄道などの交通機関	29.0
	あまり感じていない	身近な生活道路の整備	42.7	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	41.9	バス・鉄道などの交通機関	37.6
	感じていない	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	45.0	身近な生活道路の整備	43.5	バス・鉄道などの交通機関	36.5
	わからない	交通安全(歩道や街路灯)や防犯	47.1	バス・鉄道などの交通機関	35.3	身近な生活道路の整備	34.3

3. 定住意向

「定住意向」が57.1%

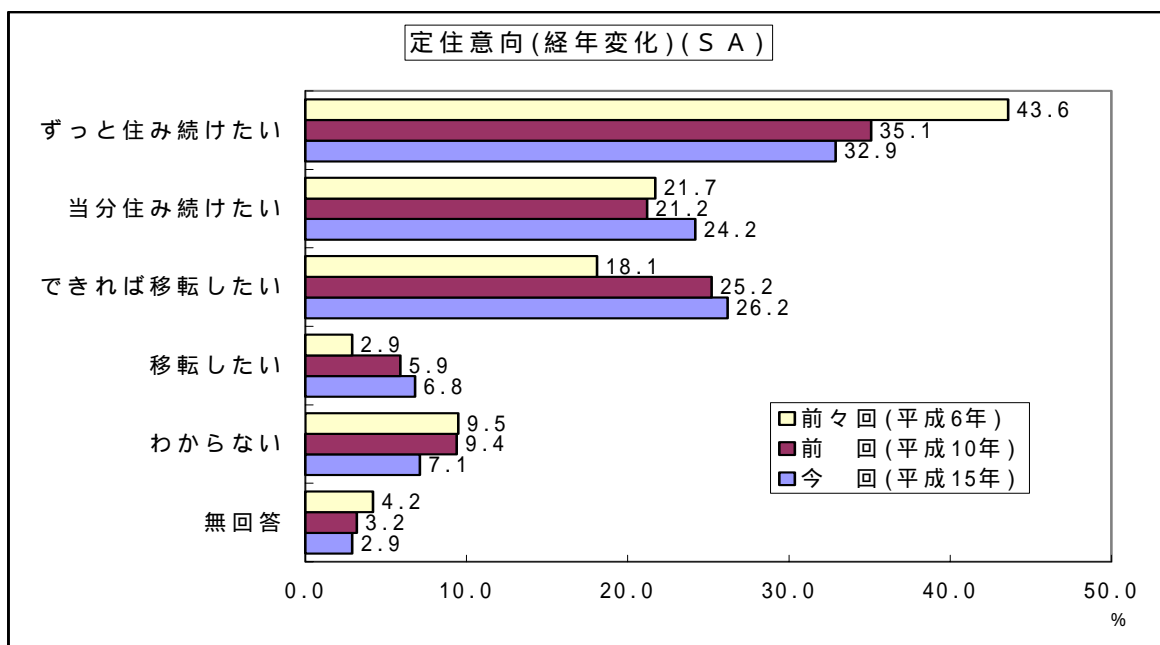
市民の定住意向を見ると、全体では、「ずっと住みたい」(32.9%)と「当分住みたい」(24.2%)を合わせた57.1%が定住意向を持っています。

前々回、前回と比較すると、「ずっと住みたい」は前々回43.6% 前回35.1% 今回32.9%と減少傾向にあるが、「当分住みたい」は同21.7% 21.2% 24.2%と今回盛り返しています。

両者を合わせた定住意向を持っている人も、同65.3% 56.3% 57.1%と前回比ほぼ横ばいとなり、下げ止まり傾向を示しています。

一方、移転希望者は、「できれば移転したい」(26.2%)と「移転したい」(6.8%)を合わせると33.0%と3分の1になっています。

この値は、一貫して増加傾向にあります。



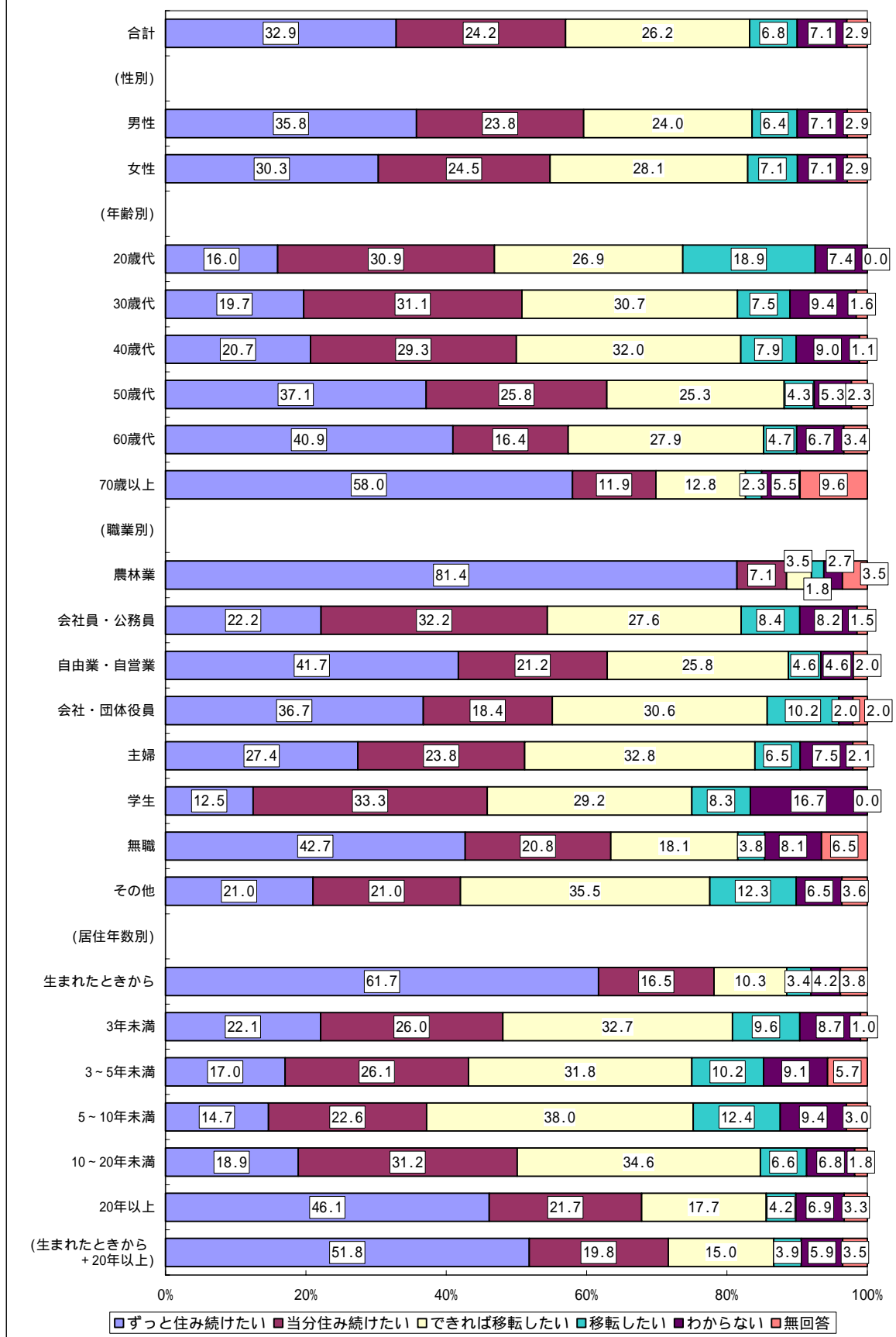
これを属性別に見ると、性別では、男性の方が定住意向が若干高くなっています。

年齢別では、年代があがるにつれて定住意向が上昇する傾向が見られ、20歳代では46.9%と過半数を割り込んでいますが、70歳以上では69.9%と高くなっています。

職業別では、農林業(88.5%)や自由業・自営業(62.9%)、無職(63.5%)など、経済的基盤が地元にある人たちの定住意向が高くなっています。会社員・公務員(54.4%)、主婦(51.2%)はかろうじて5割に達しています。

居住年数別では、10年未満の方は定住意向が減る傾向にありますが、10年を境に急速に増加しています。

定住意向(属性別) (S A)



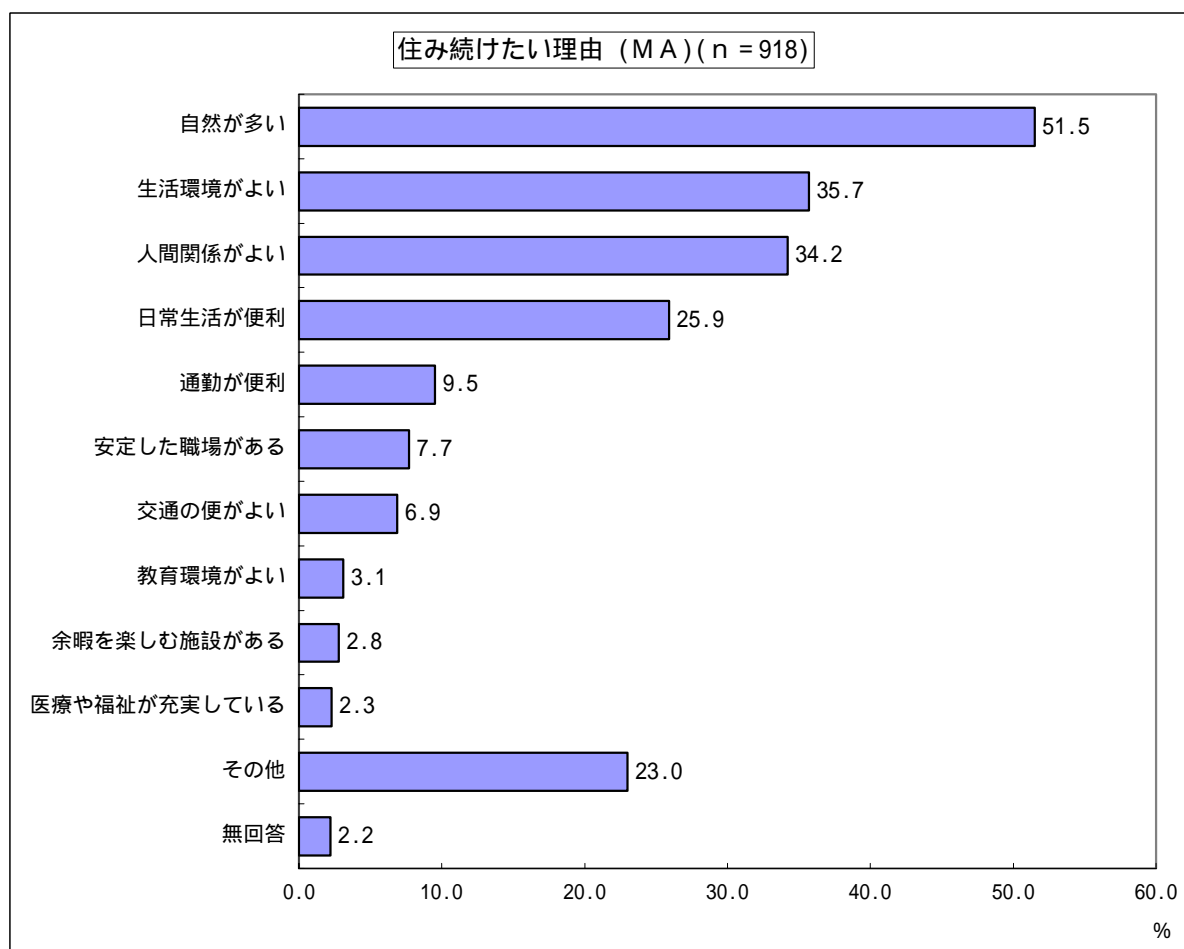
(1) 住み続けたい理由

「自然が多い」が過半数

定住派の人に住み続けたい理由をたずねたところ、「自然が多い」が 51.5%と約半数があげています。次いで、「生活環境がよい」(35.7%)、「人間関係がよい」(34.2%)がほぼ同数で続いています。

属性別でも、ほぼ同様の結果となっています。

前回と比較すると、順位の変動はありません。比率では、「人間関係がよい」は前回 34.4% 今回 34.2%と横ばいですが、「自然が多い」は前回 59.1% 今回 51.5%と 7.6 ポイント減少、「生活環境がよい」は同 39.8% 35.7%と 4.1 ポイント減少しています。



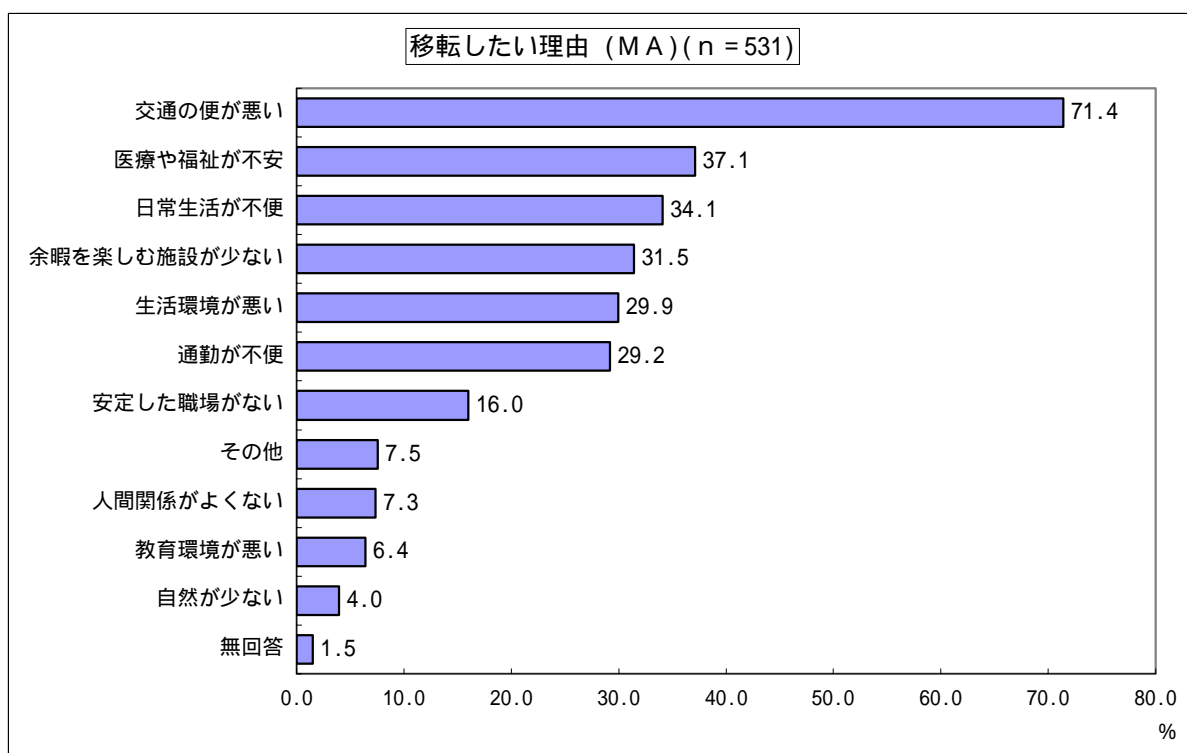
(2) 移転したい理由

「交通の便が悪い」が71.4%

移転希望者に移転したい理由をたずねたところ、「交通の便が悪い」が71.4%と、他を引き離しています。この結果は、前回(78.9%)と同様です。

2位～6位は、「医療や福祉が不安」(37.1%)、「日常生活が不便」(34.1%)、「余暇を楽しむ施設が少ない」(31.5%)、「生活環境が悪い」(29.9%)、「通勤が不便」(29.2%)が3割前後で続いています。

属性別にみても、「交通の便が悪い」は全ての階層で6割を超えています。2位以下は若干の多寡はあるものの、上記5項目(2位～6位)に集約されます。



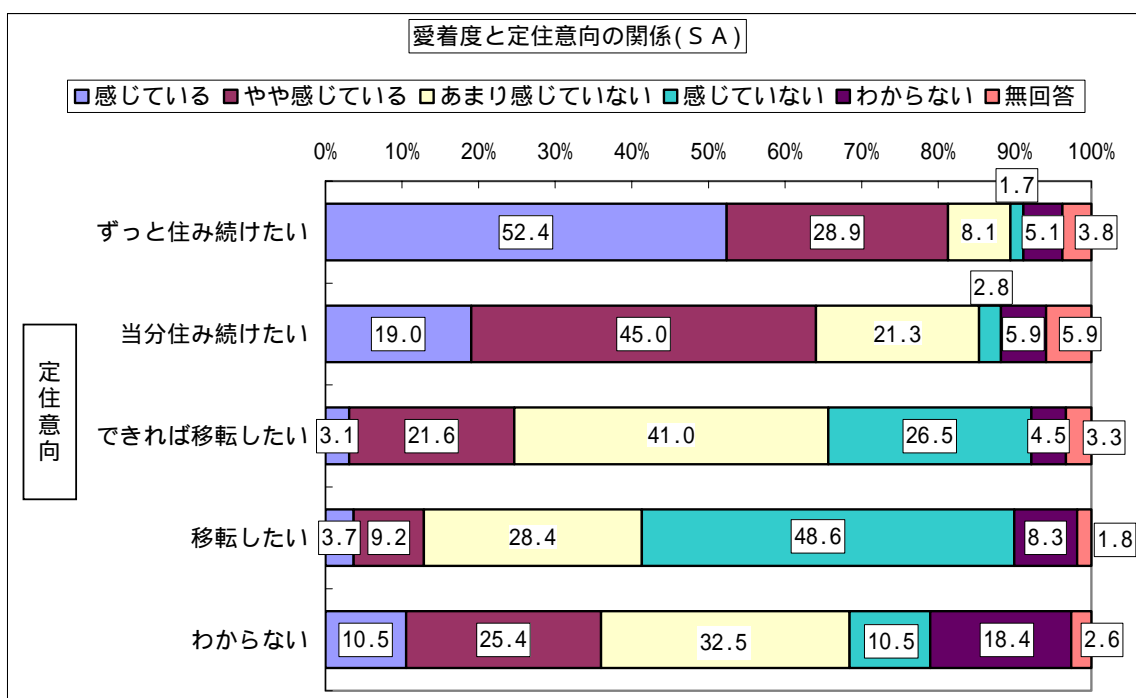
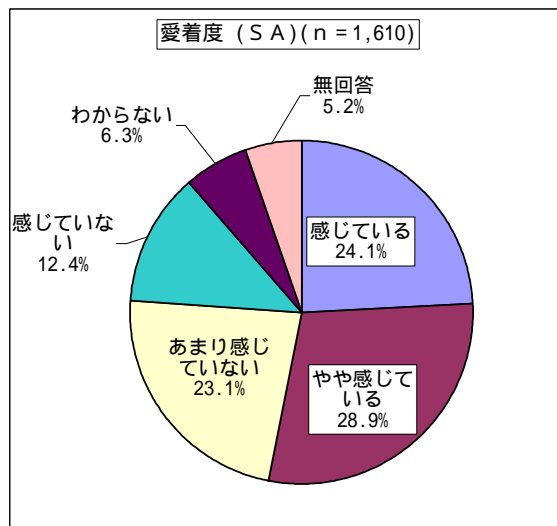
4. 愛着度

八街市に「愛着を感じる」人が 53.0%

八街市への愛着度では、「感じている」(24.1%)と「やや感じている」(28.9%)を合わせた 53.0%が愛着を持っていますが、定住意向の 57.1%を若干下回っています。

愛着を強く感じている人ほど定住意向が高く、「ずっと住み続けたい」では実に 81.3%の人が、「当分住み続けたい」でも 64.0%の人が愛着を感じています。

一方、愛着度の低い人は定住意向も極端に低く、「移転したい」では 77.0%の人が愛着を感じていません。

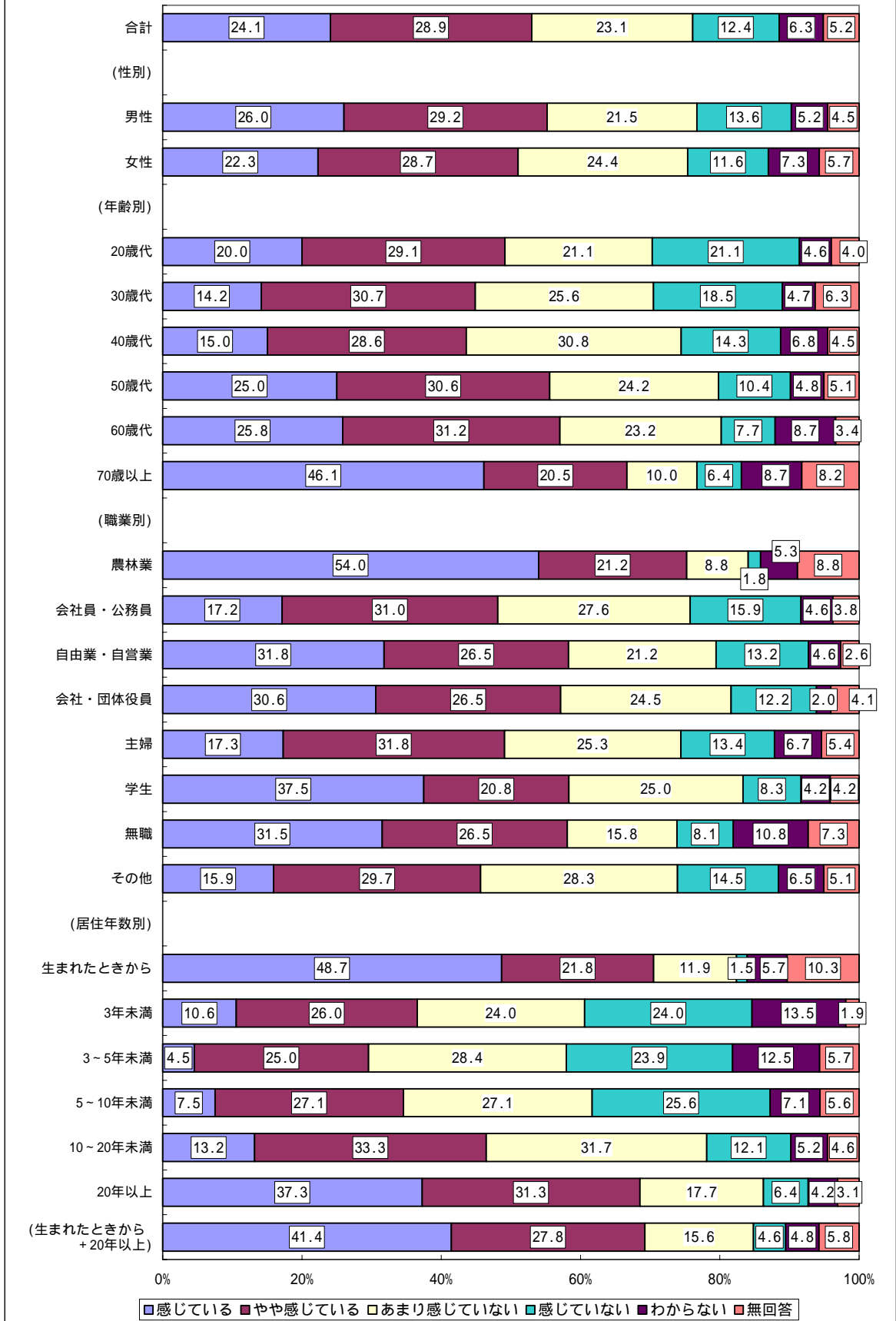


愛着度を属性別にみると、全体として定住意向とほぼ同様の傾向が出ています。

性別では、男性の方が若干高くなっています。年齢別では、年代があがるにつれて上昇する傾向が見られ、40 歳代まで過半数を割り込んでいますが、50 歳代を境に高くなっています。職業別では、農林業が高い以外はほぼ同じです。

居住年数別では、居住年数より 5 年短い、5 年を境に増加に転じています。

愛着度(属性別) (SA)



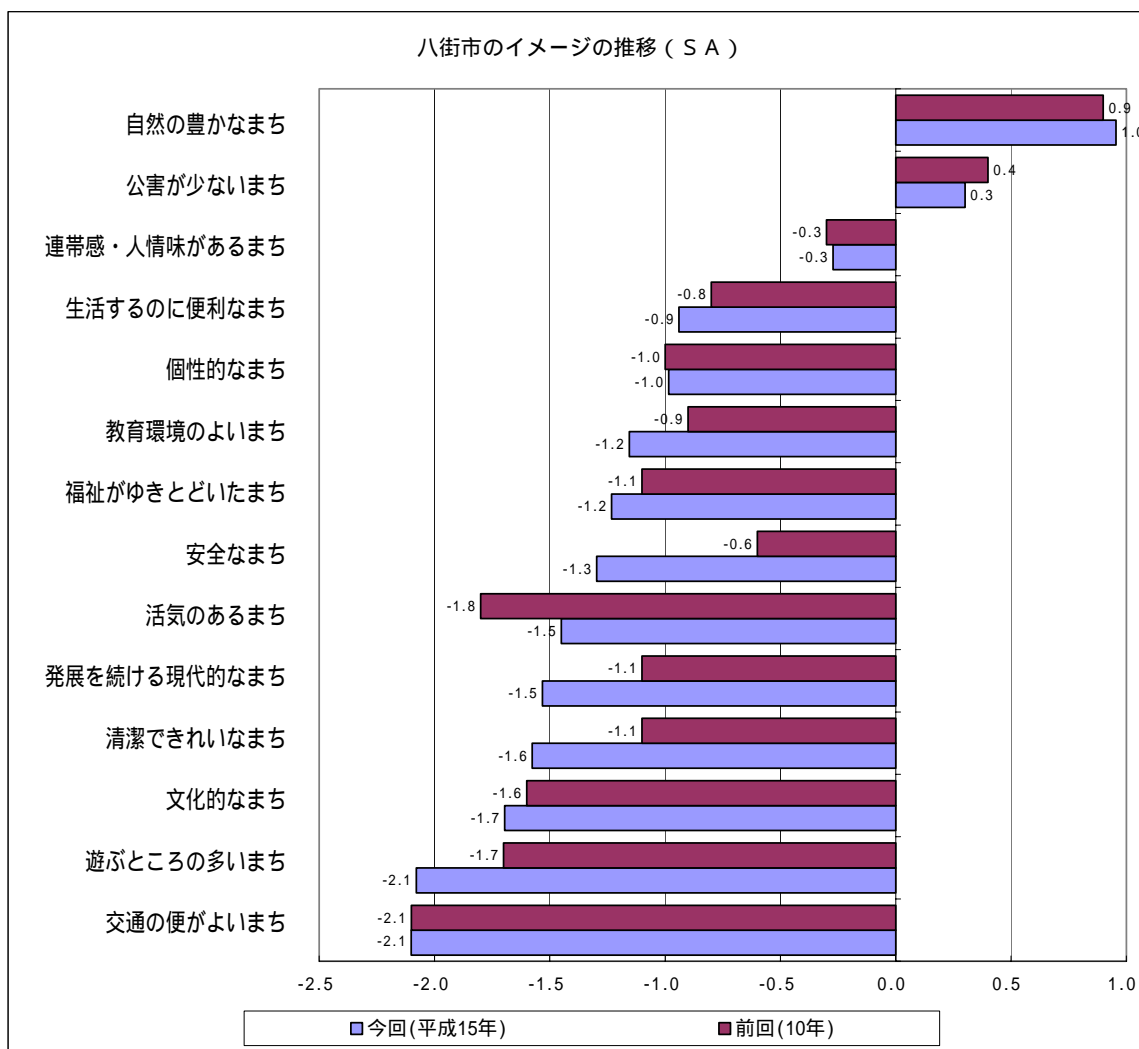
5 . 八街市のイメージ

「自然の豊かなまち」と「公害が少ないまち」

八街市のイメージとして14の項目について評価をたずねたところ、評価が高いものは、「自然の豊かなまち」(1.0)と「公害が少ないまち」(0.3)の2項目で、その他の12項目はすべてマイナス(イメージに合致しない)という回答となりました。特に、「交通の便がよいまち」(2.1)、「遊ぶところの多いまち」(2.1)、「文化的なまち」(1.7)、「発展を続ける現代的なまち」(1.5)については、評価は低くなっています。

前回との比較では、良化した項目は「活気のあるまち」(前回 1.8 今回 1.5)のみで、逆に悪化幅の大きい項目としては、「安全なまち」(同 0.6 1.3)、「清潔できれいなまち」(同 1.1 1.6)、「発展を続ける現代的なまち」(同 1.1 1.5)、「遊ぶところの多いまち」(同 1.7 2.1)となっています。

属性別でも、ほぼ同様の結果となっています。



八街市のイメージ(自由記入)

1位「砂埃、砂嵐、砂塵等」、2位「ピーナッツ・落花生」

八街市のイメージを自由に書いていただいたところ、「砂埃、砂嵐、砂塵、土埃、やちぼこり、ほこりっばい等」が208件で1位、次いで「ピーナッツ・落花生」が103件で2位となりました。以下、道路・交通関係の不満と、自然・農業関係が上位にきています。

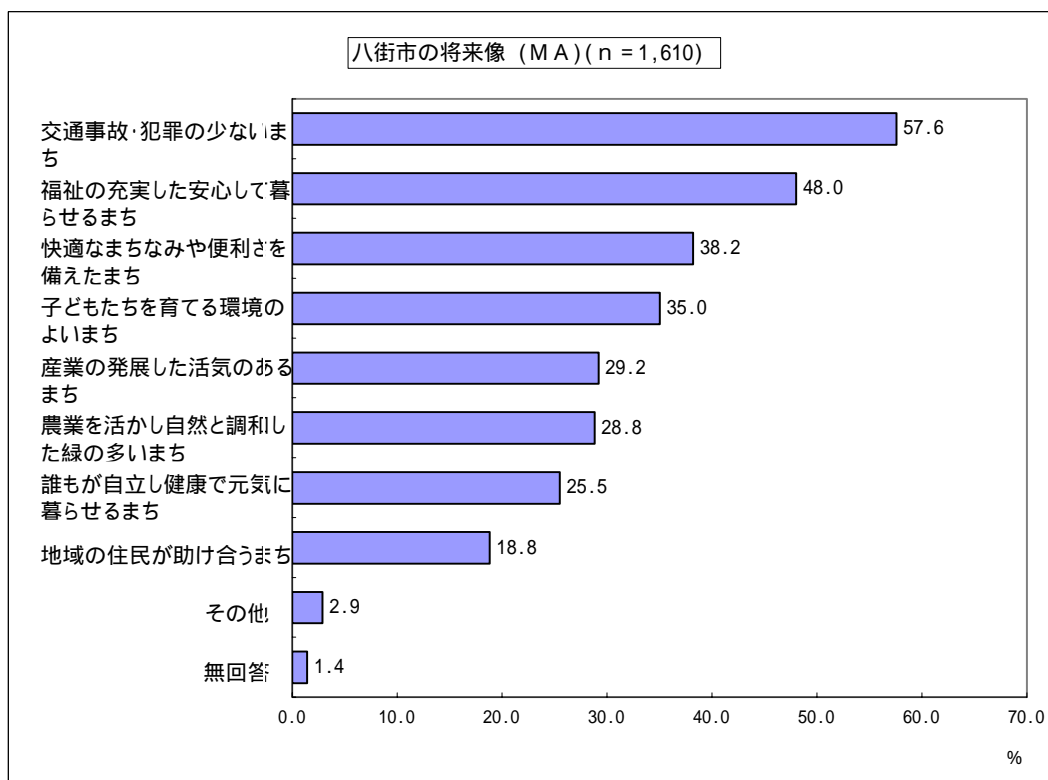
問9	イメージ	件数	問9	イメージ	件数
1	砂埃、砂嵐、砂塵、土埃、やちぼこり、ほこりっばい等	208件	33	幹線道路が悪い(狭い・渋滞する・歩道がない)	15件
2	ピーナッツ・落花生	103件	34	農産物・野菜	14件
3	交通の便が悪い、自動車がないと不便	94件	35	保守的	13件
4	畑	90件	35	人情豊か、人情味がある、連帯感がある	13件
5	自然が豊か、緑が多い、空気がきれい等	86件	37	福祉が不十分	12件
6	道路が悪い・デコボコなど道路整備全般	77件	37	発展が遅い・変化がない	12件
7	田舎等(良い意味・悪い意味が含まれる)	76件	39	文化が遅れている	11件
8	道路が狭い	60件	39	閉鎖的	11件
9	歩道がない	48件	39	のどか、のんびり、マイペース	11件
10	発展しない、将来性なし	45件	42	医療・病院・医者が不十分	10件
11	農業・農村	39件	43	遅れている	10件
12	イメージなし	37件	43	議員が多い、議員が何もしていない	10件
13	下水道・雨水排水整備の遅れ	36件	45	文化施設がない	9件
14	無計画、乱開発	35件	45	税金が高い	9件
15	排他的	28件	45	警察署がない	9件
16	基盤整備全般の遅れ	28件	45	不良が多い	9件
17	活気がない(市全体)	27件	45	マナーが悪い	9件
18	鉄道の便が悪い	26件	50	教育レベルが低い	8件
18	商業・中心市街地・駅前に活気がない	26件	50	農地と住宅地の混在	8件
20	古い、昔ながら、取り残されたまち	24件	50	ゴミ	8件
21	渋滞が多い	22件	記入合計		1,050件
21	行政全般(悪い評価)	22件			
21	公園・レクリエーション・こどもの遊び場、スポーツ施設整備の遅れ	22件			
21	発展途上のまち	22件			
25	上水道整備の遅れ	21件			
25	中途半端	21件			
27	犯罪が多い、治安が悪い	19件			
28	市とは言えない	18件			
28	人口増・人口急増	18件			
30	交通安全(交通事故が多い、道路が危険)	17件			
30	スイカ	17件			
30	街灯・外灯が少ない、暗い	17件			

6 . 八街市の将来像

「交通事故・犯罪の少ないまち」が過半数

八街市の将来像としては、「交通事故・犯罪の少ないまち」が57.6%と最も多く、前述した『不満度』や『優先的に実施して欲しい施策』で1位であったことと合わせると、市民の関心、希望・要望が一番高い項目といえます。

高齢社会を控え「福祉の充実した安心して暮らせるまち」(48.0%)も約半数、「快適なまちなみや便利さを備えたまち」(38.2%)や「子どもたちを育てる環境のよいまち」(35.0%)は3分の1以上の市民があげています。



これを属性別に見ると、性別では、順位は同じですが、2位の「福祉の充実した安心して暮らせるまち」では、男性(40.8%)と女性(53.9%)の間に13.1ポイントの差があります。

年齢別では、40歳代までは「交通事故・犯罪の少ないまち」が1位ですが、50歳代以上になると「福祉の充実した安心して暮らせるまち」が1位となっています。20歳代では「快適なまちなみや便利さを備えたまち」が、30歳代では「子どもたちを育てる環境のよいまち」が2位にあります。

職業別では、農林業で「農業を活かし自然と調和した緑の多いまち」が、学生で「快適なまちなみや便利さを備えたまち」が1位にあるほかは、「交通事故・犯罪の少ないまち」が上位にあります。

居住年数別では、全ての年代で「交通事故・犯罪の少ないまち」が1位で、2位は居住年数5年未満が「快適なまちなみや便利さを備えたまち」、5年以上では「福祉の充実した安心して暮らせるまち」となっています。

定住意向別では、定住意向の強い人は「交通事故・犯罪の少ないまち」を、弱い人は「快適なまちなみや便利さを備えたまち」を上位にあげています。

八街市の将来像(属性別)

(単位：%)

		1位		2位		3位		
総計		交通事故・犯罪の少ないまち	57.6	福祉の充実した安心して暮らせるまち	48.0	快適なまちなみや便利さを備えたまち	38.2	
性別	男性	交通事故・犯罪の少ないまち	57.3	福祉の充実した安心して暮らせるまち	40.8	快適なまちなみや便利さを備えたまち	38.8	
	女性	交通事故・犯罪の少ないまち	58.0	福祉の充実した安心して暮らせるまち	53.9	快適なまちなみや便利さを備えたまち	37.6	
年齢別	20歳代	交通事故・犯罪の少ないまち	66.3	快適なまちなみや便利さを備えたまち	62.9	子どもたちを育てる環境のよいまち	45.1	
	30歳代	交通事故・犯罪の少ないまち	63.8	子どもたちを育てる環境のよいまち	53.1	快適なまちなみや便利さを備えたまち	47.6	
	40歳代	交通事故・犯罪の少ないまち	59.0	福祉の充実した安心して暮らせるまち	49.6	快適なまちなみや便利さを備えたまち	46.2	
	50歳代	福祉の充実した安心して暮らせるまち	54.5	交通事故・犯罪の少ないまち	54.0	産業の発展した活気のあるまち	34.3	
	60歳代	福祉の充実した安心して暮らせるまち	57.7	交通事故・犯罪の少ないまち	54.7	産業の発展した活気のあるまち	36.6	
	70歳以上	福祉の充実した安心して暮らせるまち	53.0	交通事故・犯罪の少ないまち	52.1	誰もが自立し健康で元気に暮らせるまち	43.4	
	職業別	農林業	農業を活かし自然と調和した緑の多いまち	71.7	福祉の充実した安心して暮らせるまち	46.0	交通事故・犯罪の少ないまち	45.1
会社員・公務員		交通事故・犯罪の少ないまち	59.8	快適なまちなみや便利さを備えたまち	46.7	福祉の充実した安心して暮らせるまち	41.4	
自由業・自営業		交通事故・犯罪の少ないまち	51.0	福祉の充実した安心して暮らせるまち	39.7	子どもたちを育てる環境のよいまち	37.7	
会社・団体役員		交通事故・犯罪の少ないまち	61.2	快適なまちなみや便利さを備えたまち	55.1	福祉の充実した安心して暮らせるまち	38.8	
主婦		交通事故・犯罪の少ないまち	64.1	福祉の充実した安心して暮らせるまち	55.0	子どもたちを育てる環境のよいまち	42.1	
学生		快適なまちなみや便利さを備えたまち	70.8	交通事故・犯罪の少ないまち	62.5	子どもたちを育てる環境のよいまち	37.5	
無職		交通事故・犯罪の少ないまち	55.8	福祉の充実した安心して暮らせるまち	54.2	誰もが自立し健康で元気に暮らせるまち	33.8	
その他		福祉の充実した安心して暮らせるまち	59.4	交通事故・犯罪の少ないまち	50.7	快適なまちなみや便利さを備えたまち	44.2	
居住年数別		生まれたときから	交通事故・犯罪の少ないまち	53.3	農業を活かし自然と調和した緑の多いまち	45.2	福祉の充実した安心して暮らせるまち	43.3
		3年未満	交通事故・犯罪の少ないまち	54.8	快適なまちなみや便利さを備えたまち	51.0	福祉の充実した安心して暮らせるまち	49.0
	3～5年未満	交通事故・犯罪の少ないまち	60.2	快適なまちなみや便利さを備えたまち	51.1	子どもたちを育てる環境のよいまち	48.9	
	5～10年未満	交通事故・犯罪の少ないまち	58.6	福祉の充実した安心して暮らせるまち	46.2	快適なまちなみや便利さを備えたまち	45.5	
	10～20年未満	交通事故・犯罪の少ないまち	60.1	福祉の充実した安心して暮らせるまち	49.2	快適なまちなみや便利さを備えたまち	41.9	
	20年以上	交通事故・犯罪の少ないまち	57.2	福祉の充実した安心して暮らせるまち	51.7	誰もが自立し健康で元気に暮らせるまち	35.5	
	(生まれたときから+20年以上)	交通事故・犯罪の少ないまち	55.8	福祉の充実した安心して暮らせるまち	48.6	農業を活かし自然と調和した緑の多いまち	35.8	
	定住意向別	ずっと住み続けたい	交通事故・犯罪の少ないまち	53.9	福祉の充実した安心して暮らせるまち	49.9	農業を活かし自然と調和した緑の多いまち	40.1
当分住み続けたい		交通事故・犯罪の少ないまち	66.3	福祉の充実した安心して暮らせるまち	45.0	子どもたちを育てる環境のよいまち	38.3	
できれば移転したい		交通事故・犯罪の少ないまち	57.3	快適なまちなみや便利さを備えたまち	53.1	福祉の充実した安心して暮らせるまち	49.8	
移転したい		快適なまちなみや便利さを備えたまち	66.1	交通事故・犯罪の少ないまち	48.6	産業の発展した活気のあるまち	41.3	
わからない		交通事故・犯罪の少ないまち	60.5	福祉の充実した安心して暮らせるまち	52.6	子どもたちを育てる環境のよいまち、快適なまちなみや便利さを備えたまち	32.5	
愛着度別	感じている	交通事故・犯罪の少ないまち	54.6	福祉の充実した安心して暮らせるまち	46.1	農業を活かし自然と調和した緑の多いまち	42.0	
	やや感じている	交通事故・犯罪の少ないまち	63.4	福祉の充実した安心して暮らせるまち	51.2	快適なまちなみや便利さを備えたまち	35.1	
	あまり感じていない	交通事故・犯罪の少ないまち	55.6	福祉の充実した安心して暮らせるまち	48.9	快適なまちなみや便利さを備えたまち	47.3	
	感じていない	快適なまちなみや便利さを備えたまち	59.5	交通事故・犯罪の少ないまち	58.5	福祉の充実した安心して暮らせるまち	41.5	
	わからない	交通事故・犯罪の少ないまち	55.9	福祉の充実した安心して暮らせるまち	50.0	産業の発展した活気のあるまち、子どもたちを育てる環境のよいまち	31.4	

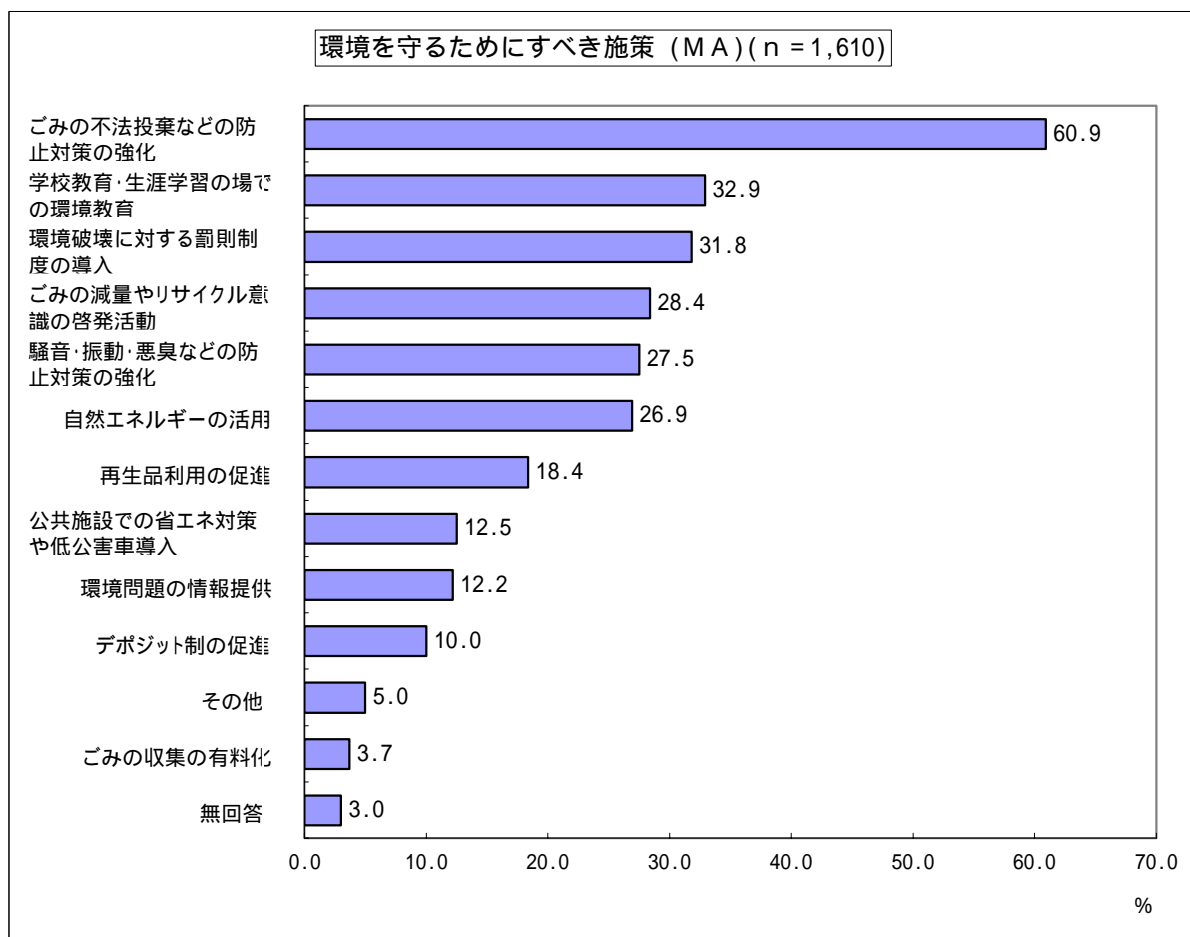
個別の行政施策への対応

7. 環境を守るためにすべき施策

「ごみの不法投棄などの防止対策の強化」が過半数

環境を守るためにすべき施策としては、「ごみの不法投棄などの防止対策の強化」が 60.9%で唯一過半数となっています。

次いで、「学校教育・生涯学習の場での環境教育」(32.9%)、「環境破壊に対する罰則制度の導入」(31.8%)、「ごみの減量やリサイクル意識の啓発活動」(28.4%)、「騒音・振動・悪臭などの防止対策の強化」(27.5%)、「自然エネルギーの活用」(26.9%)の 5 項目が 3 割前後で並んでいます。

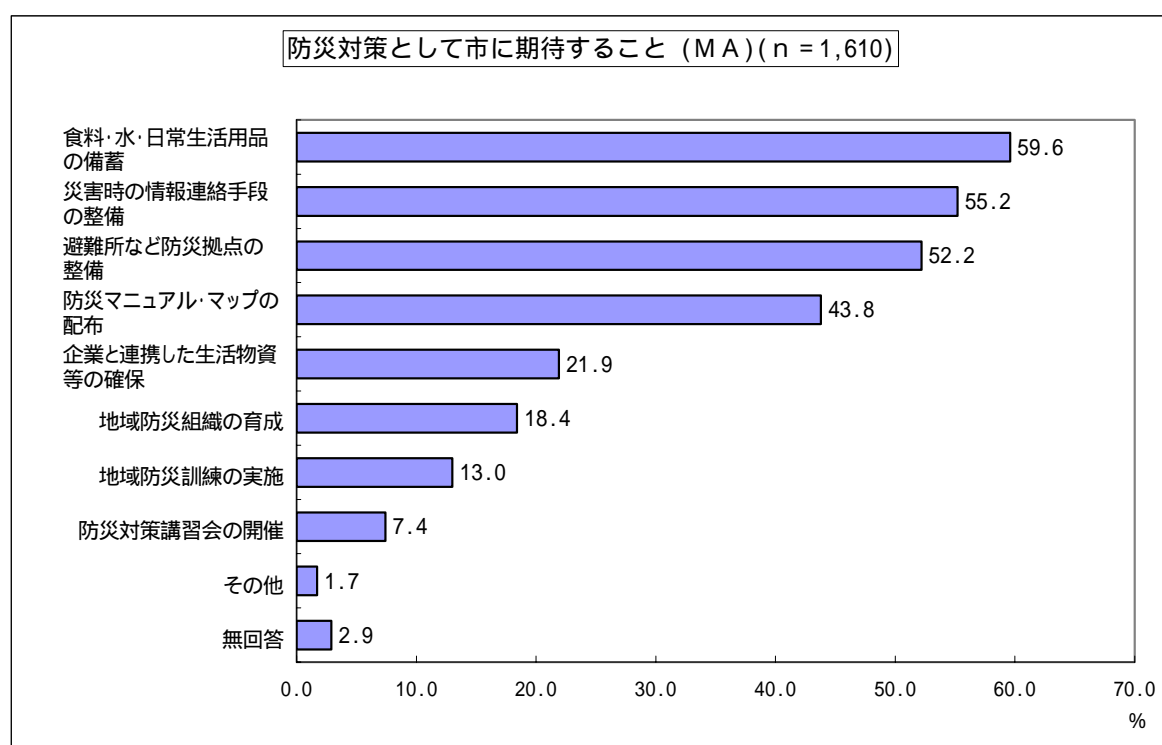


8 . 防災対策として市に期待すること

「食料・水・日常生活用品の備蓄」、「災害時の情報連絡手段の整備」、「避難所など防災拠点の整備」の3項目が過半数

防災対策として市に期待することとしては、「食料・水・日常生活用品の備蓄」(59.6%)、「災害時の情報連絡手段の整備」(55.2%)、「避難所など防災拠点の整備」(52.2%)の3項目が過半数を占めています。

また、「防災マニュアル・マップの配布」(43.8%)も5割に近づいています。



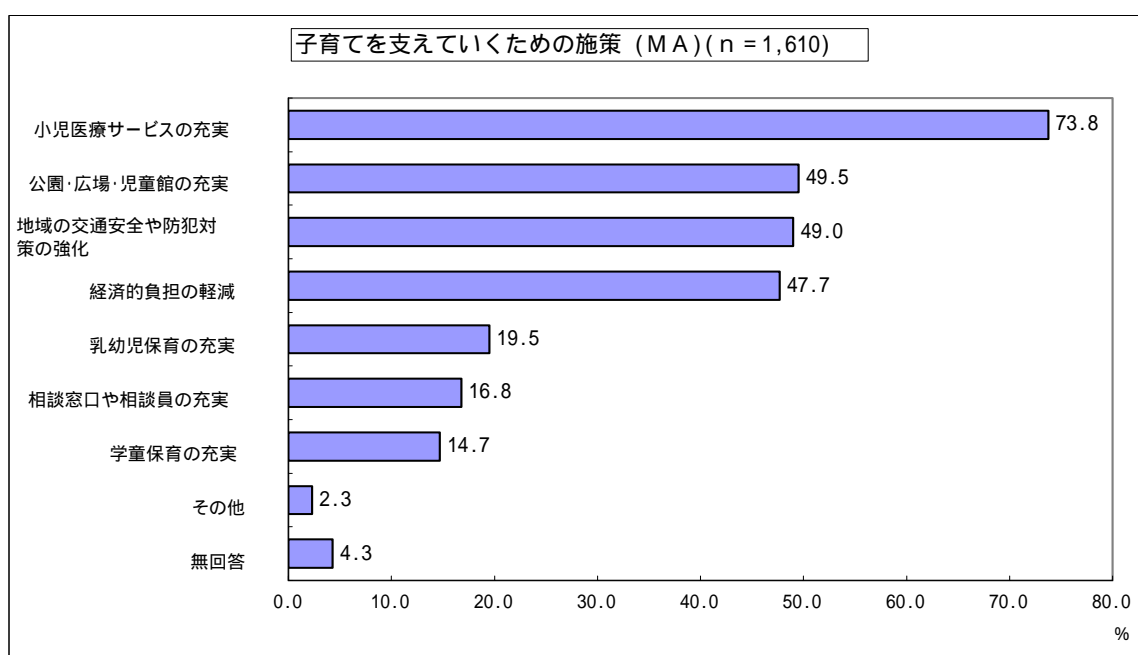
9. 子育てを支えていくための施策

「小児医療サービスの充実」が4分の3

子育てを支えていくための施策としては、「小児医療サービスの充実」が73.8%を占め、圧倒的に高くなっています。

次いで、「公園・広場・児童館の充実」(49.5%)、「地域の交通安全や防犯対策の強化」(49.0%)、「経済的負担の軽減」(47.7%)の3項目が5割に迫っています。

属性別では、いずれの階層でも「小児医療サービスの充実」が1位となっています。年齢別では、20～30歳代で「経済的負担の軽減」が、40～60歳代では「公園・広場・児童館の充実」が、70歳以上では「地域の交通安全や防犯対策の強化」が2位に入っています。



子育てを支えていくための施策(属性別)

(単位：%)

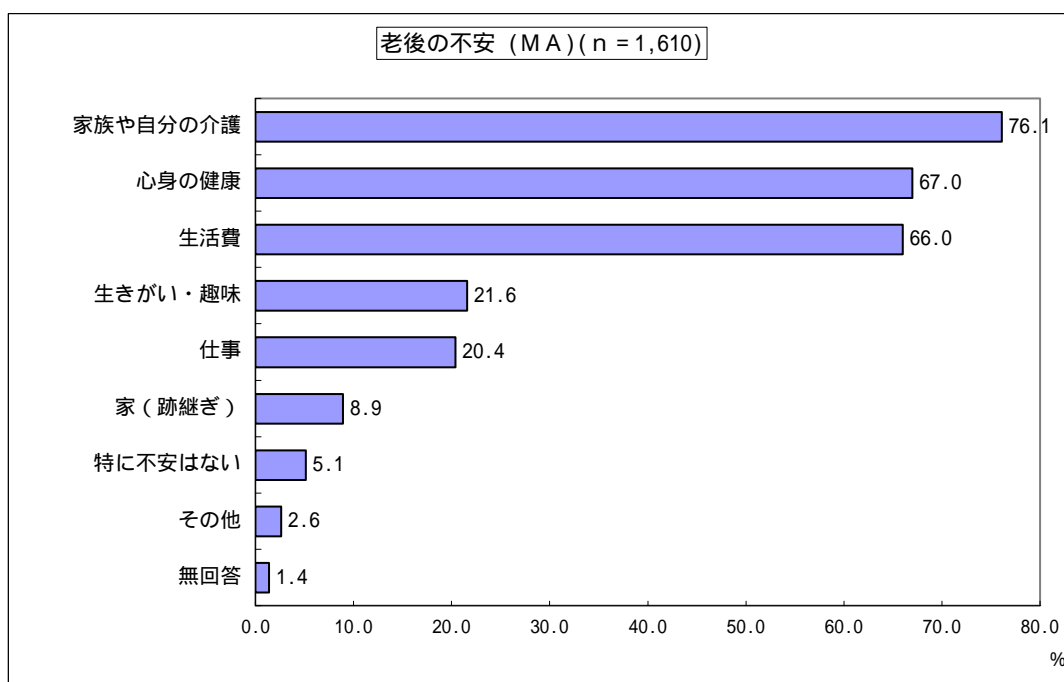
		1位		2位		3位	
総計		小児医療サービスの充実	73.8	公園・広場・児童館の充実	49.5	地域の交通安全や防犯対策の強化	49.0
性別	男性	小児医療サービスの充実	73.8	地域の交通安全や防犯対策の強化	52.6	経済的負担の軽減	51.0
	女性	小児医療サービスの充実	73.7	公園・広場・児童館の充実	49.7	地域の交通安全や防犯対策の強化	46.2
年齢別	20歳代	小児医療サービスの充実	76.6	経済的負担の軽減	60.6	公園・広場・児童館の充実	49.7
	30歳代	小児医療サービスの充実	78.0	経済的負担の軽減	53.9	地域の交通安全や防犯対策の強化	51.6
	40歳代	小児医療サービスの充実	76.3	公園・広場・児童館の充実	55.3	地域の交通安全や防犯対策の強化	55.3
	50歳代	小児医療サービスの充実	73.7	公園・広場・児童館の充実	49.0	経済的負担の軽減	47.7
	60歳代	小児医療サービスの充実	74.2	公園・広場・児童館の充実	52.0	地域の交通安全や防犯対策の強化	49.0
	70歳以上	小児医療サービスの充実	63.5	地域の交通安全や防犯対策の強化	49.8	公園・広場・児童館の充実	41.1

10. 老後の不安

「家族や自分の介護」が4分の3、「心身の健康」・「生活費」も3分の2

老後の不安としては、「家族や自分の介護」が76.1%を占め1位ですが、「心身の健康」(67.0%)、「生活費」(66.0%)も含めた3項目に集中しています。

年齢別では、「家族や自分の介護」は、介護世代である40歳代から60歳代で1位となっています。「生活費」については若年層が、「心身の健康」については高齢者が不安に思っています。



老後の不安(属性別)

(単位：%)

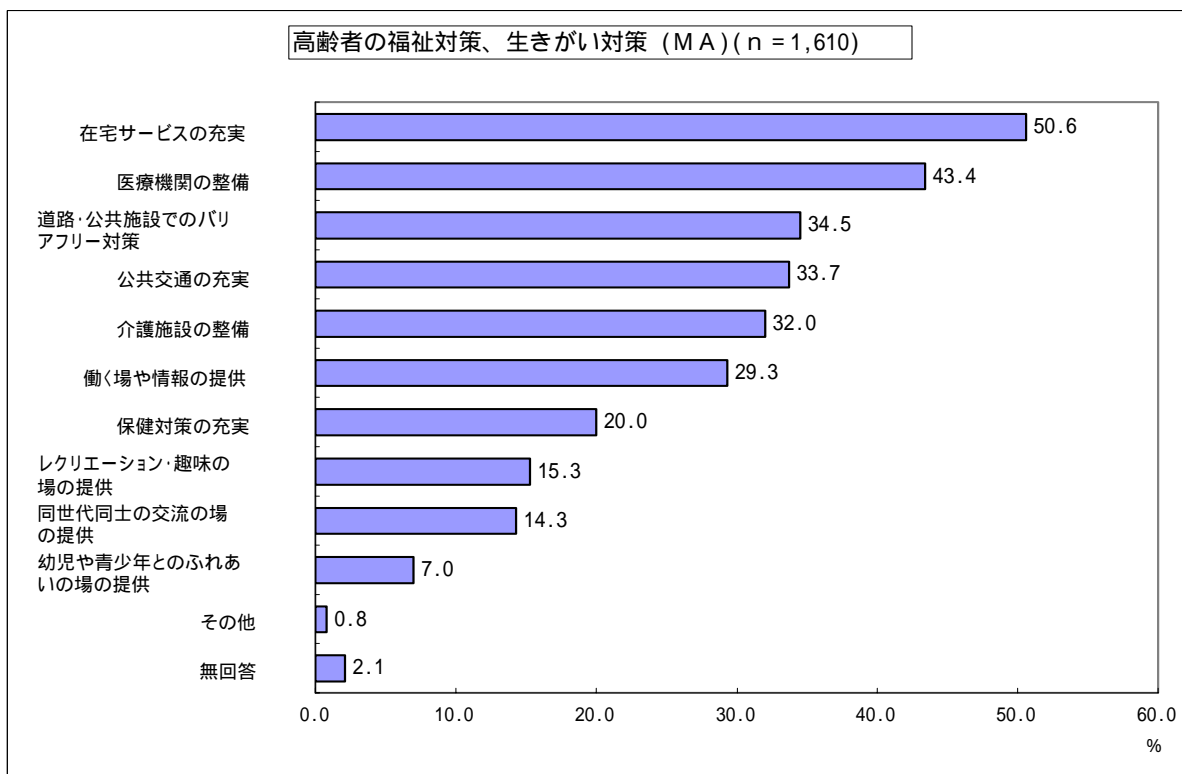
		1位		2位		3位	
総計		家族や自分の介護	76.1	心身の健康	67.0	生活費	66.0
性別	男性	家族や自分の介護	71.2	生活費	64.9	心身の健康	64.1
	女性	家族や自分の介護	80.2	心身の健康	69.5	生活費	67.0
年齢別	20歳代	生活費	78.9	家族や自分の介護	69.7	心身の健康	54.3
	30歳代	生活費	84.3	家族や自分の介護	74.0	心身の健康	55.1
	40歳代	家族や自分の介護	73.7	生活費	73.7	心身の健康	62.8
	50歳代	家族や自分の介護	80.3	心身の健康	74.0	生活費	60.6
	60歳代	家族や自分の介護	81.2	心身の健康	73.2	生活費	61.4
	70歳以上	心身の健康	75.3	家族や自分の介護	73.1	生活費	41.6

1 1 . 高齢者の福祉対策、生きがい対策

「在宅サービスの充実」が半数

高齢者の福祉対策、生きがい対策としては、「在宅サービスの充実」が 50.6%と半数を占め、「医療機関の整備」(43.4%)が続いています。

年齢別では、「在宅サービスの充実」は、20 歳代を除いて 1 位となっています。若年層では交通関係、高齢者では「介護施設の整備」や「医療機関の整備」が上位にきています。



高齢者の福祉対策、生きがい対策(属性別)

(単位：%)

	1 位		2 位		3 位		
	対策	割合 (%)	対策	割合 (%)	対策	割合 (%)	
総計	在宅サービスの充実	50.6	医療機関の整備	43.4	道路・公共施設でのバリアフリー対策	34.5	
性別	男性	在宅サービスの充実	45.1	医療機関の整備	45.2	道路・公共施設でのバリアフリー対策	33.4
	女性	在宅サービスの充実	55.3	医療機関の整備	42.0	道路・公共施設でのバリアフリー対策	35.6
年齢別	20歳代	道路・公共施設でのバリアフリー対策	47.4	公共交通の充実	44.0	在宅サービスの充実	43.4
	30歳代	在宅サービスの充実	46.1	道路・公共施設でのバリアフリー対策	43.7	医療機関の整備	40.9
	40歳代	在宅サービスの充実	53.4	医療機関の整備	43.6	公共交通の充実	40.2
	50歳代	在宅サービスの充実	54.8	医療機関の整備	42.9	介護施設の整備	32.8
	60歳代	在宅サービスの充実	53.0	医療機関の整備	49.0	介護施設の整備	36.2
	70歳以上	在宅サービスの充実	47.5	介護施設の整備	45.7	医療機関の整備	44.7

1 2 . 自宅でのインターネット利用状況

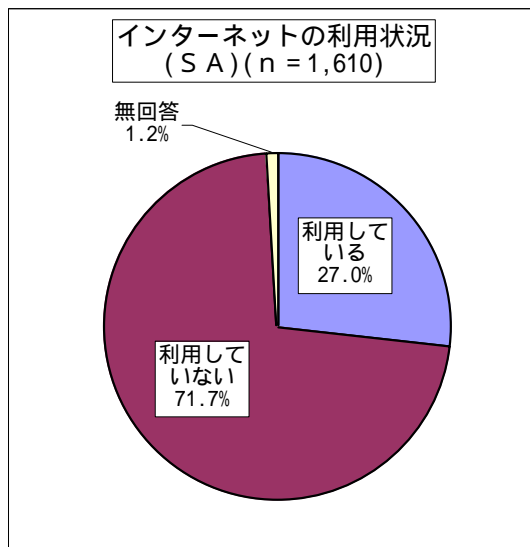
「利用している」は27.0%

自宅でインターネットを利用している人は 27.0% とまだ少数派となっています。

利用の多い属性では、性別では男性(33.3%)が女性(22.0%)より 11.3 ポイント多くなっています。

年齢別では、20 歳代～40 歳代で 4～5 割が利用しています。

また、職業別では、学生が 8 割、会社員・公務員や会社・団体役員が 4 割利用しています。



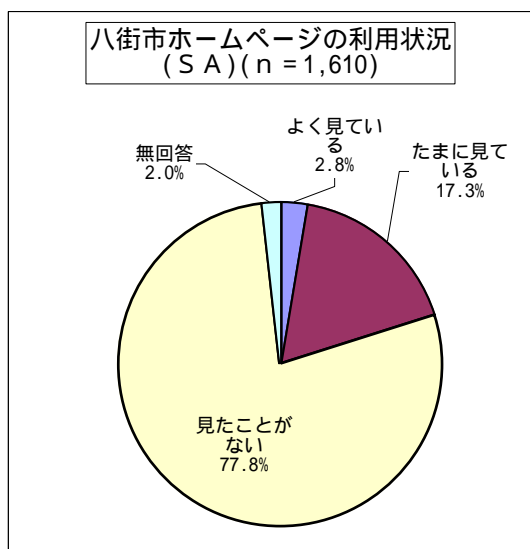
1 3 . 八街市ホームページの閲覧状況

「見ている」は2割

八街市のホームページを“見ている”(「よく見ている」と「たまに見ている」の合計)は 20.1% です。属性別では、性別、年齢別では大きな差異はみられません。

職業別では、学生が 4 割と高くなっているのが目立ちます。

また、自宅でインターネットを利用している人のうち“見ている”は 39.5%(よく見ている：4.1%、たまに見ている 35.4%)と、4 割に達していますが、自宅でインターネットを利用していない人では 12.9%と、差が見られます。

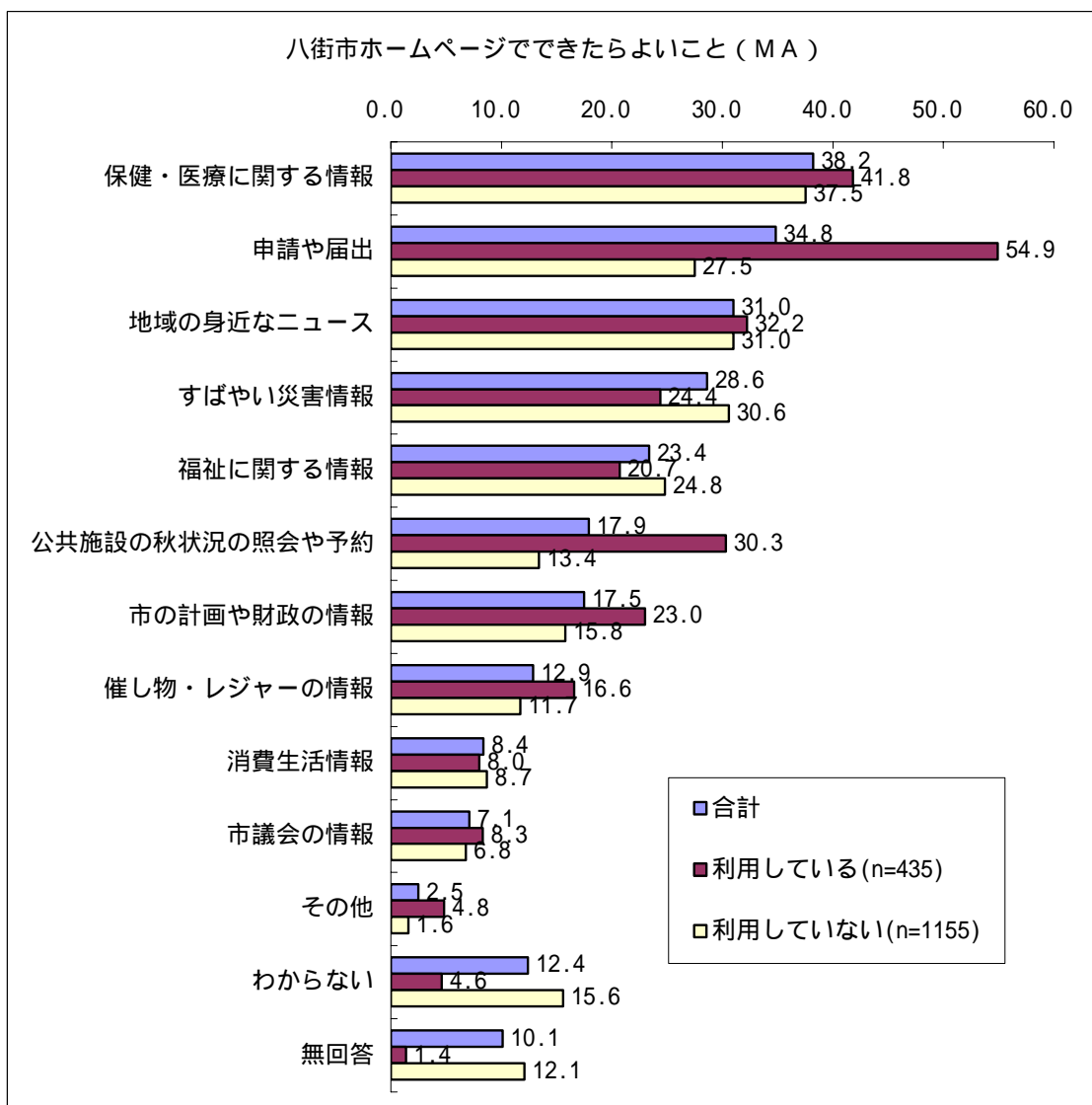


14. 八街市ホームページでできたらよいこと

上位は「保健・医療に関する情報」、「申請や届出」、「地域の身近なニュース」

八街市のホームページでできたらよいこととしては、「保健・医療に関する情報」(38.2%)、「申請や届出」(34.8%)、「地域の身近なニュース」(31.0%)、「すばやい災害情報」(28.6%)などが上位にあります。

また、自宅でインターネットを利用している人では、「申請や届出」(54.9%)、「公共施設の空き状況の照会や予約」(30.3%)など、自宅に居ながらの諸手続きが上位にきています。



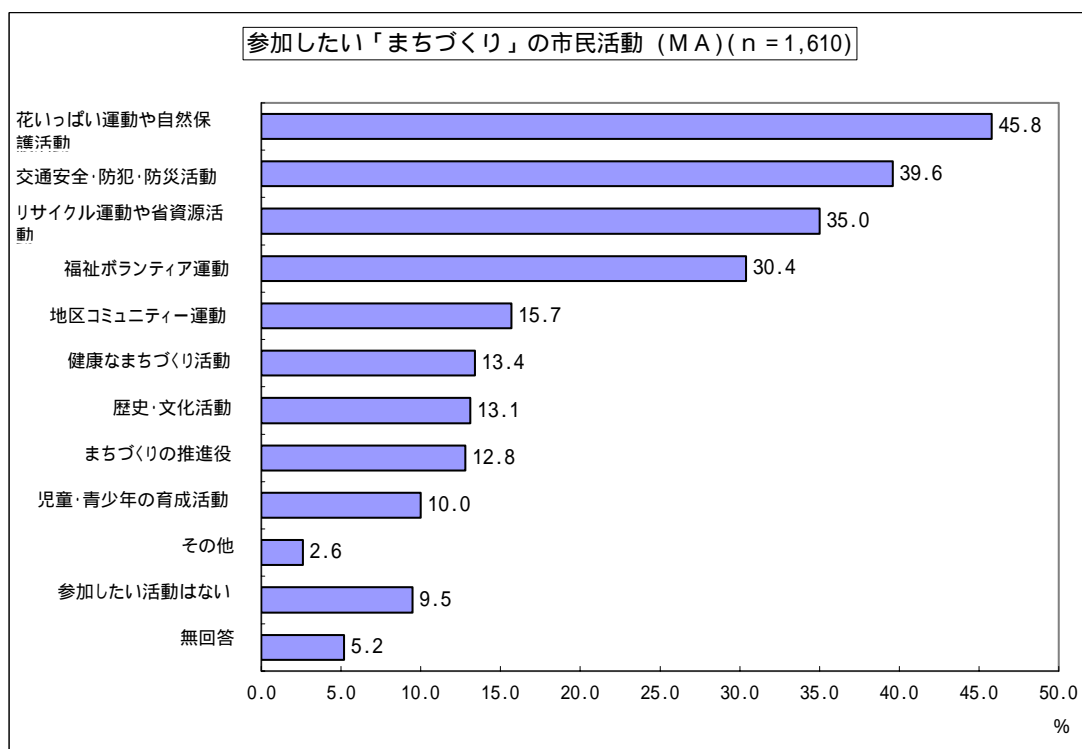
15. 参加したい「まちづくり」の市民活動

「花いっぱい運動や自然保護活動」が1位

参加したい「まちづくり」の市民活動では、「花いっぱい運動や自然保護活動」(45.8%)が1位ですが、「交通安全・防犯・防災活動」(39.6%)や「リサイクル運動や省資源活動」(35.0%)、「福祉ボランティア運動」(30.4%)などが続いています。

これを属性別に見ると、性別では、男性は「交通安全・防犯・防災活動」が、女性は「花いっぱい運動や自然保護活動」が1位にきています。

年齢別では、30歳代以上では大きな差異は見られません。



参加したい「まちづくり」の市民活動(属性別)

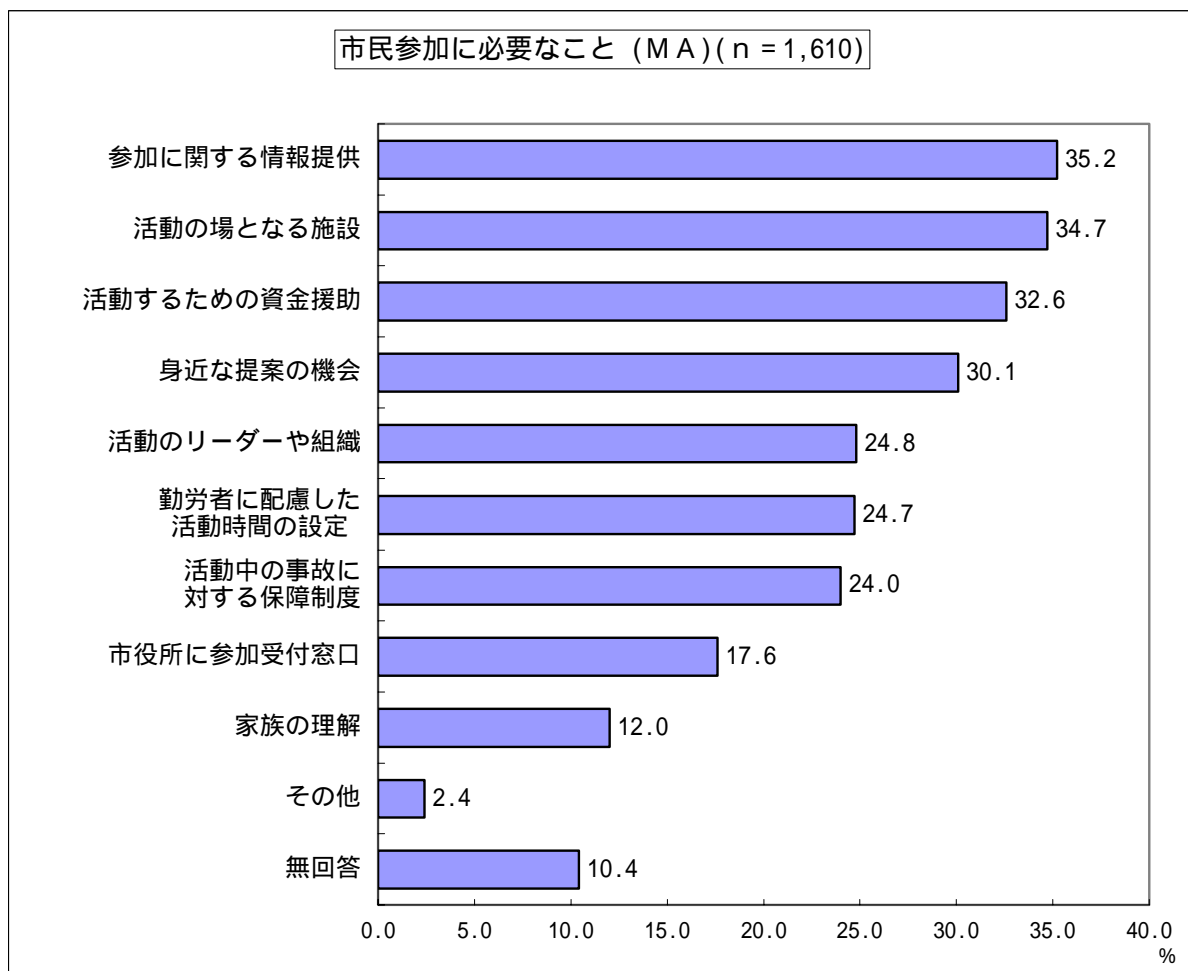
(単位：%)

		1位		2位		3位	
総計		花いっぱい運動や自然保護活動	45.8	交通安全・防犯・防災活動	39.6	リサイクル運動や省資源活動	35.0
性別	男性	交通安全・防犯・防災活動	46.7	花いっぱい運動や自然保護活動	40.8	リサイクル運動や省資源活動	37.3
	女性	花いっぱい運動や自然保護活動	50.0	福祉ボランティア運動	37.9	交通安全・防犯・防災活動	33.8
年齢別	20歳代	リサイクル運動や省資源活動	34.9	交通安全・防犯・防災活動	33.1	花いっぱい運動や自然保護活動	32.6
	30歳代	花いっぱい運動や自然保護活動	40.2	交通安全・防犯・防災活動	40.2	リサイクル運動や省資源活動	31.1
	40歳代	花いっぱい運動や自然保護活動	42.9	交通安全・防犯・防災活動	40.2	リサイクル運動や省資源活動	37.6
	50歳代	花いっぱい運動や自然保護活動	55.3	交通安全・防犯・防災活動	38.9	リサイクル運動や省資源活動	37.9
	60歳代	花いっぱい運動や自然保護活動	52.7	交通安全・防犯・防災活動	43.6	福祉ボランティア運動	37.2
	70歳以上	花いっぱい運動や自然保護活動	39.3	交通安全・防犯・防災活動	39.3	リサイクル運動や省資源活動	29.2

16 . 市民参加に必要なこと

**「参加に関する情報提供」や「活動の場となる施設」、
「活動するための資金援助」が上位**

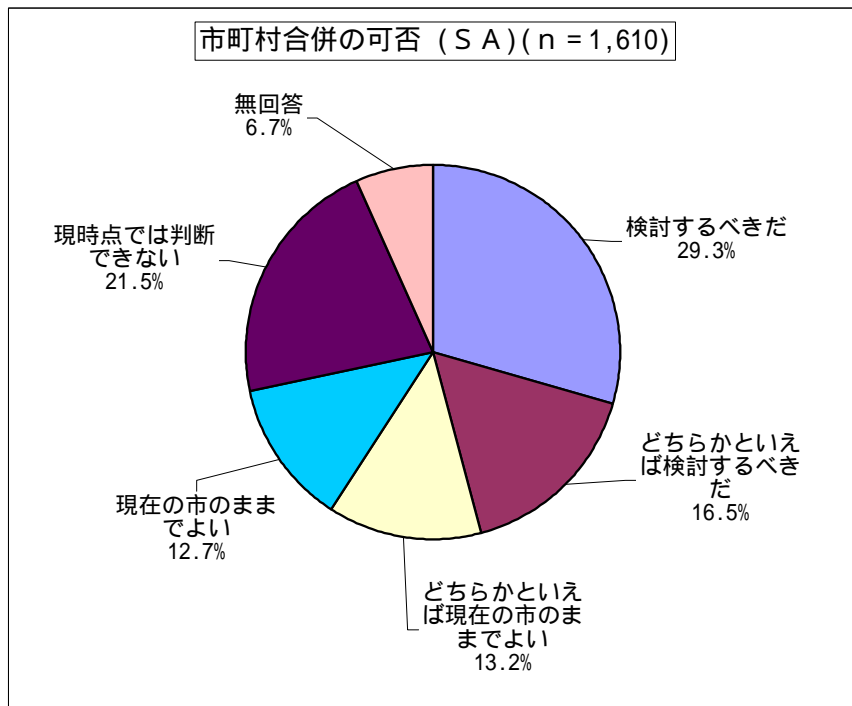
市民参加に必要なことは、3割以上の方が「参加に関する情報提供」(35.2%)、「活動の場となる施設」(34.7%)、「活動するための資金援助」(32.6%)、「身近な提案の機会」(30.1%)をあげています。また、2割以上の方が「活動のリーダーや組織」(24.8%)、「勤労者に配慮した活動時間の設定」(24.7%)、「活動中の事故に対する保障制度」(24.0%)をあげ、7項目であまり差異がみられません。ケースバイケースで様々な支援策が必要なことがうかがわれます。



17. 市町村合併の可否

「合併検討派」が5割弱

市町村合併については、「検討するべきだ」(29.3%)と「どちらかといえば検討するべきだ」(16.5%)を合わせた45.8%が検討派、「現在の市のままでよい」(12.7%)と「どちらかといえば現在の市のままでよい」(13.2%)を合わせた25.9%が現状維持派となっています。しかし、「現時点では判断できない」とする人も21.5%おり、どちらも過半数には達していません。



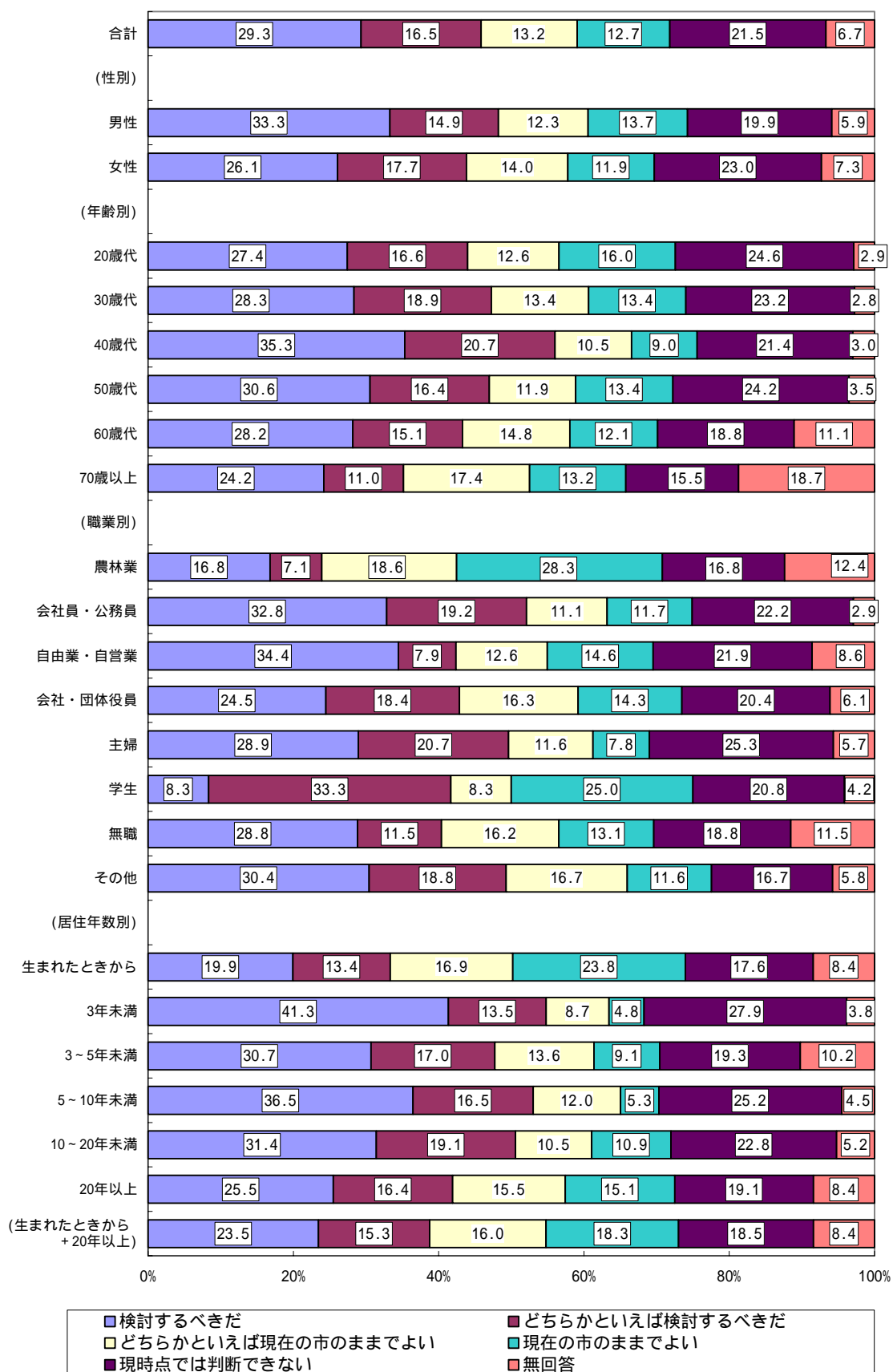
これを属性別に見ると、性別では男性の方が若干検討派が多くなっています。

年齢別では40歳代までは検討派が増えていますが、それより上の年代では検討派が徐々に減少しています。また、現時点では判断できないとする人は若い人ほど多くなっています。

職業別では、会社員・公務員や主婦に検討派が多く見られます。農林業では現状維持派が多くなっています。

居住年数別では、居住年数が長くなるほど合併検討派が減り、現状維持派が増える傾向が見られ、生まれたときから住んでいる人では、現状維持派のほうが多くなっています。

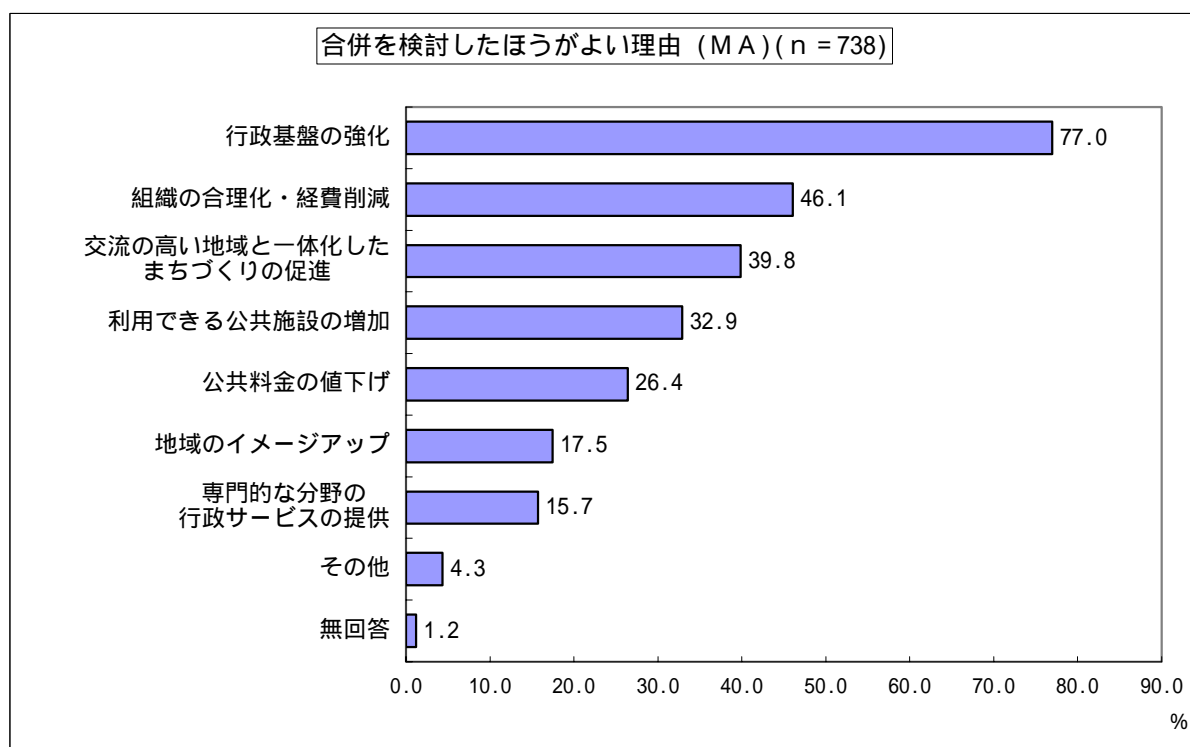
市町村合併の可否(属性別) (S A)



(1) 合併を検討したほうがよい理由

「行政基盤の強化」が4分の3

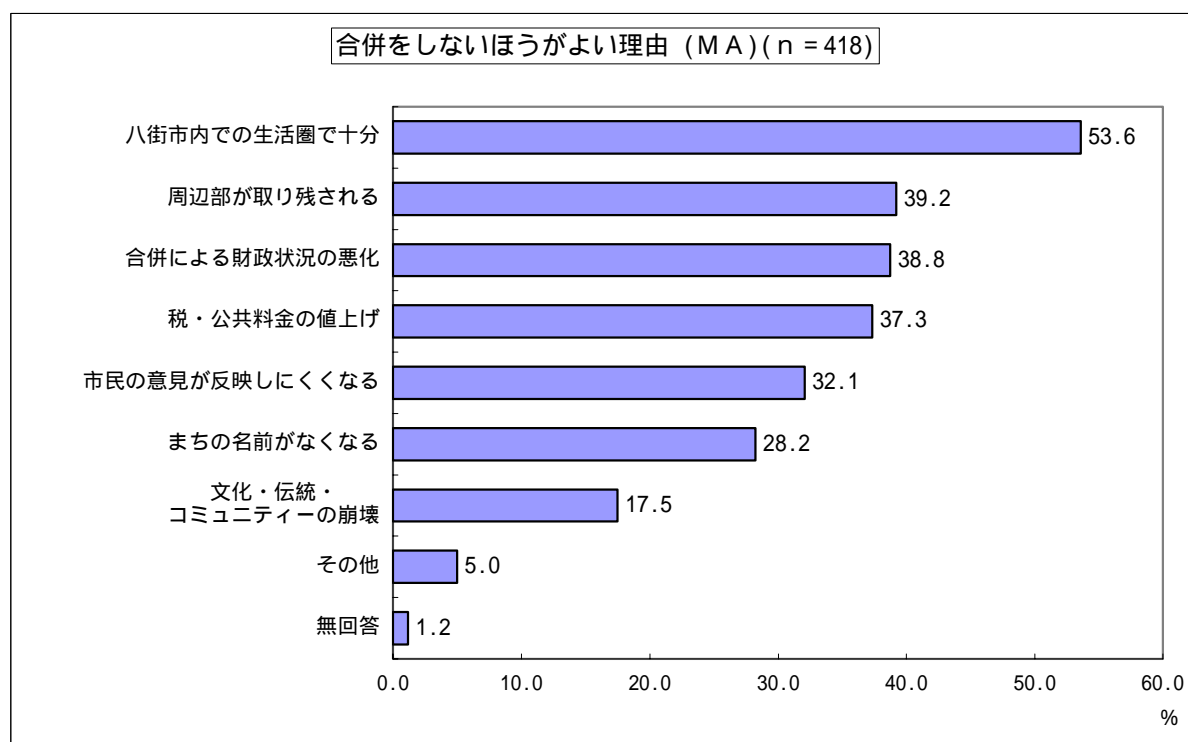
合併検討派に、検討したほうがよい理由をたずねたところ、「行政基盤の強化」(77.0%)をあげる人が4分の3に達しています。他にも、「組織の合理化・経費削減」(46.1%)、「交流の高い地域と一体化したまちづくりの促進」(39.8%)、「利用できる公共施設の増加」(32.9%)などが上位にあります。



(2) 合併をしないほうがよい理由

「八街市内での生活圏で十分」が過半数

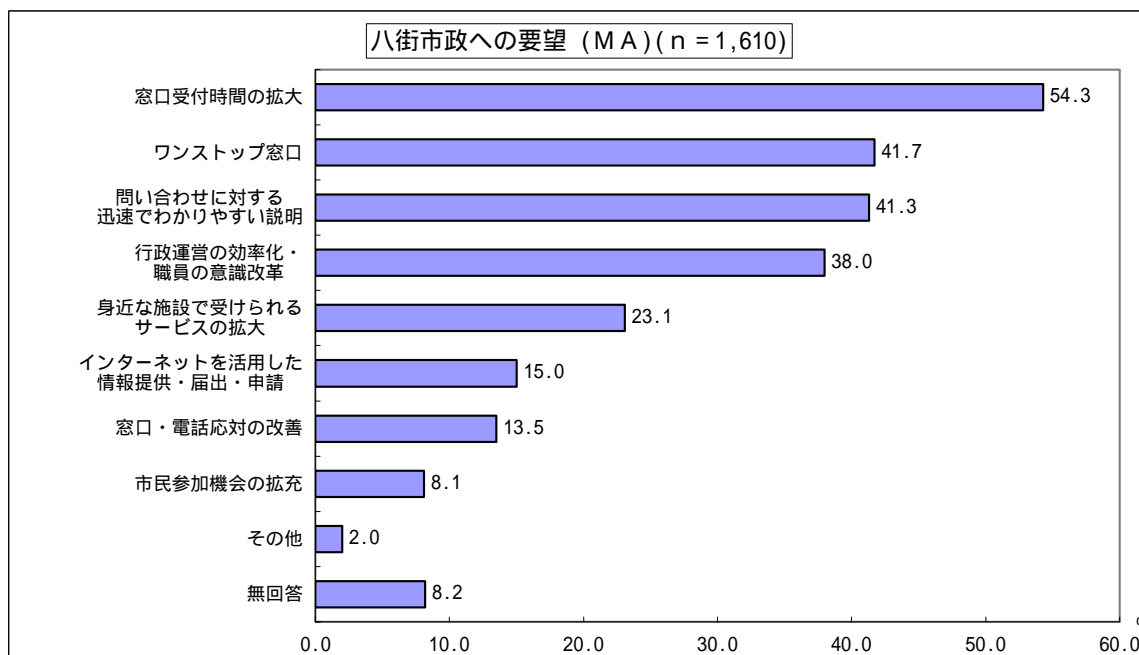
一方、現状維持派の人に、合併しないほうがよい理由をたずねたところ、「八街市内での生活圏で十分」(53.6%)が半数を超えています。他にも、「周辺部が取り残される」(39.2%)、「合併による財政状況の悪化」(38.8%)、「税・公共料金の値上げ」(37.3%)、「市民の意見が反映しにくくなる」(32.1%)、「まちの名前がなくなる」(28.2%)など、合併の弊害をあげる意見が多く見られます。



18. 八街市政への要望

「窓口受付時間の拡大」、「ワンストップ窓口」などが上位

八街市政への要望では、「窓口受付時間の拡大」(54.3%)、「ワンストップ窓口」(41.7%)、「問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明」(41.3%)、「行政運営の効率化・職員の意識改革」(38.0%)の4項目が3割を超えています。



これを属性別に見ると、性別では、男女とも「窓口受付時間の拡大」が1位となっていますが、男性では「行政運営の効率化・職員の意識改革」が、女性では「ワンストップ窓口」が2位となっています。

年齢別では働く世代である50歳代までは「窓口受付時間の拡大」が1位となっています。また、年代が上になるほど「ワンストップ窓口」や「問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明」が上位にきています。

八街市政への要望(属性別)

(単位：%)

		1位		2位		3位	
総計		窓口受付時間の拡大	54.3	ワンストップ窓口	41.7	問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明	41.3
性別	男性	窓口受付時間の拡大	53.7	行政運営の効率化・職員の意識改革	42.5	問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明	40.4
	女性	窓口受付時間の拡大	55.1	ワンストップ窓口	43.6	問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明	41.9
年齢別	20歳代	窓口受付時間の拡大	67.4	ワンストップ窓口	40.6	問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明	34.3
	30歳代	窓口受付時間の拡大	64.2	ワンストップ窓口	37.8	問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明	35.0
	40歳代	窓口受付時間の拡大	62.8	行政運営の効率化・職員の意識改革	43.6	問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明	37.6
	50歳代	窓口受付時間の拡大	54.0	行政運営の効率化・職員の意識改革	44.7	問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明	43.4
	60歳代	問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明	49.7	ワンストップ窓口	47.0	窓口受付時間の拡大	46.6
	70歳以上	ワンストップ窓口	45.7	問い合わせに対する迅速でわかりやすい説明	43.8	窓口受付時間の拡大	33.8

第4章 自由意見

1. 土地利用・都市基盤

項目	件数	主な意見
計画的なまちづくり	20	現状は雑然とした無秩序な街であり、低価格の不動産広告のせい か、低所得層が住む町と思われ、イメージが悪い。都市計画をきちん とすること。(市街化区域、市街化調整区域を確定し、無指定地域を 無くす。)できれば、300㎡以下の土地の分筆を許さず、建ぺい率を 50%以下にすれば、ある程度立派な町並みになり、緑豊かな街になる。 (60歳代・男性)
		一戸建ての建築が進んでいますが、それ以前に道路の拡幅や下水整 備等を先行してその後に家が建つよう頭の切り替えが必要だと考え ます。(50歳代・男性)
		本来自然環境が多くあるこの街が中途半端な開発が美観を無くし てしまっています。線引きをして、この自然を大切にしたいと思 います。ミニ開発により道路も歩道も整備されないまま次々に家が 建ち、こんなに広い市がゴミゴミしてすっきりしていないと思 います。もう少し総合的に街づくりを計画してから実行に移してもら いたいと思います。(50歳代・女性)
		地域の線引きをする。(20歳代・男性)
駅前整備	35	八街の中心部が何処かと聞かれて、すぐに出てこない。駅前が夜の 早い時間でもシャッターが閉まり、人通りもまばらなのを見て、引 越してきた当初はびっくりしました。駅の工事によって、北側に活 気が出る事に期待しています。(30歳代・女性)
		駅の工事に関しても、もっと積極的に住民に対してアピールして、 より良い街づくりを目指して欲しい。バスターミナルの所に車が進入 する事で迷惑をかけている人を良く見かけるので、駅の工事でそこを どのように改善できるのかという事を開示して欲しい。(20歳代・ 女性)
		街の表玄関であるJR八街駅を茂原のような高架橋式にし、慢性的 な渋滞をひきおこしている国道や県道の踏切を撤去すべきだと考え ます。JR八街駅と駅前を改修、整備して、個性的な八街の顔を作 っていくことが必要だと思います。(30歳代・男性)
駅前駐車場 整備	17	路上駐車が多いので、八街駅周辺に大きい駐車場を作って欲しい です。そうすれば、駅周辺の商店街も活性化すると思います。(30歳 代・女性)
		駅周辺に駐車場が無く不便を感じている。市役所の駐車場を常時解 放して欲しい。駅周辺や街中の道路は朝・晩の渋滞がひどいので、早 急に道路の整備の充実と歩道整備の充実を検討して欲しい。(50歳 代・女性)

項目	件数	主な意見
榎戸駅整備	17	榎戸駅をどうかしてください。屋根も半分しかついてないし、改札口も片側だけで、回るのが大変です。(20歳代・女性)
		八街駅周辺だけでなく、榎戸駅周辺も活性化させないとダメだと思う。「不便なので引っ越す」という人がかなりいます。(30歳代・男性)
JR 複線化・本数の増加	64	八街駅の改築で、駅は良くなりますが、それと同時に複線化とダイヤの本数を増やして欲しい。(70歳以上・男性)
		交通手段としての総武本線の増発を働きかけてもらいたい。八街 - 佐倉間が15~20分間隔であればあまり不便さを感じないのですが。(50歳代・男性)
		電車・バスの本数を増やす事はやって欲しい。10年以上住んでいるのに全く改善されてない! 駅前だってようやくって感じだし。(20歳代・女性)
		鉄道の便数が少ない。佐倉までなら帰ってこられるのに、それからが大変。特に朝6時台と夜10時台が1本とは非常に不便。東京の通勤圏ではない。複線化を含め市民の便利さの向上のため強く市として出来ることをやって欲しい。(40歳代・女性)
ふれあいバス	40	市内循環バスをもっと利用しやすくして欲しい。八街駅よりも榎戸駅を利用する人の為に便数を増すとか、ショッピングしやすくなるように八街駅周辺の店、または409号線沿いの店前に、発着、またはよることが出来ればよい。(50歳代・女性)
		千葉から越してきて30年以上になりますが、何をしても車が必要と思っておりまして(自分は車の運転が出来ませんが)、ふれあいバスの運行が助かっております。(60歳代・女性)
		とにかく八街駅までの交通手段が少なく、1日4往復から送り迎えをしている状態です。ふれあいバスも電車の時間にあっていない。間に合う時があれば、間に合わない時もあるようであてに出来ない。ふれあいバスが夜も動いてくれると助かるのですが。(40歳代・女性)
		私達60歳以上の人はほとんど運転免許証を持っていません。ですから、ふれあいバスがすごくべんりです。せめて2時間おきくらいに乗れたら外出する機会が多くなり、楽しみが増えると思います。(50歳代・女性)

項目	件数	主な意見
渋滞解消	35	日常車で動く事が多く、八街の道路状況の悪さにはうんざりしています。右折車線が無い所が多く、渋滞にあうことが多いです。先ずは一番最初に道路整備に力を入れて欲しいです。(20歳代・女性)
		慢性的な交通渋滞なので、信号の間隔を変えとか、出来れば右折レーンの設置を考えて欲しい。安心して歩いて、また自転車の走れる程度の十分な幅の歩道が必要です。子供達は毎日危険と隣りあわせて通学しています。市内の中学生の半分以上は自転車です。(40歳代・女性)
		主道路は交通が多いため生活道路の交通量が多い。一方通行の整備はなぜ出来ないのか。(60歳代・男性)
		バイパス道路の着工が一刻も早く進められ、市街地の交通渋滞を緩和していただきたい。(70歳以上・男性)
道路幅員 拡張	53	乱開発が進む前に、道路拡張、上下水道の整備を急いでもらいたい。(50歳代・男性)
		道路が狭い為、歩道が無く子供の通学に非常に危険を感じています。私は車を運転して八街市以外の道路を走る度に、八街市の道路事情の悪さを実感しています。今後行政として歩道を確保する道路づくりを進めて欲しいと思います。「市」としては本当に最低レベル以下の状態だと思っています。駅の改良工事が必要な事だとは思いますが、もっと優先すべき事があるのではないのでしょうか？(20歳代・女性)
		八街は道が悪いというイメージと職場(成田)で言われた。細い道や畑等から小さい道、車を運転していて怖いところが多くていつもヒヤヒヤする事が多い。自転車の事故が多い。(50歳代・女性)
		道路は歩道も無く未整備で細く曲がりくねっている。細い道にトラックが入ってくるのでよけようとしても木や雑草が邪魔でよける場所もない。(20歳代・男性)
バイパスの 早期完成	22	バイパスはいったいどうなっているのでしょうか？渋滞がひどくて買い物にも遠回りしています。(40歳代・男性)
		バイパス道路、文化会館等、クビを長くして待っています。計画は色々あると思いますが、もっとスピードアップして進めて欲しいです。(40歳代・女性)

項目	件数	主な意見
国道 409 号の整備	25	国道 409 号（特に八街駅周辺）の道幅を広げて欲しい。歩行者との距離があまりにとれなくて危ないと思うことがかなりあります。（30 歳代・女性）
		国道 409 号線を通して通学する子供たちを見ていると、まさに ” 命がけ ” という感じ。事故の無いのが不思議。早急に歩行者、自転車が安心して通れるスペースを確保して欲しい。（40 歳代・女性）
車道整備全般	44	農協そばの踏み切りについて、毎日のように利用しているが危険を感じている。道路の改良又は立体交差等検討してもらいたい。（60 歳代・男性）
		道路がボコボコで、車も多いので自転車で走っているとすごく怖い。夜などは飲酒して車の運転をしている人がいるにも関わらず、皆見てみぬフリをしている。何かあってからでは遅い。（30 歳代・女性）
		交通事故が非常に多いので、道路整備に力を注いで欲しい。（40 歳代・男性）
		道路の整備。市道の舗装が壊れて亀の背中状態で、振動が激しい。（60 歳代・男性）
歩道整備	121	身近なところで毎日感じるのは、歩道が少なく危険だなあという事。バスの本数が少なく、徒歩で駅まで子供を乗せたベビーカーで行かなくてはいけない時、自転車でちょっとした買い物に行きたいとき、ちょっと油断すれば大型トレーラーとすれ違いざまぶつかりそうになったり、バスの風圧で転びそうになったり、すごく恐ろしい思いをします。段差をつけた歩道や、夜の暗い道には街灯を充実させるなど、市民に直接かかわってくる形での街づくりを望んでやみません。（30 歳代・女性）
		道路及び歩道の整備をもっと力を入れて整備をして欲しい。現在の歩道は段差があり歩道が狭すぎるし、車が駐車している所があり通りにくい。（60 歳代・男性）
		歩道・ガードレール等が無く、散歩・買い物の歩行は危険すぎる。まず第一に整備して欲しい。（30 歳代・男性）
		ある程度大きな道路には歩行者スペースがあるといいと思う。近所の通学路ではマナーの悪いドライバーとマナーの悪い小中学生がならみ合っていることもしばしば。交通安全教育も大事だけど、追いつかないと思う。道路を整備して、少しでも安全な環境をと望みます。（30 歳代・女性）
		車がないと生活するのに不便なところに居住しています。今はまだ運転する事が出来ますが、年を重ねたときの事を思うと不安になります。主要道路に安心して歩ける歩道が欲しいです。（50 歳代・女性）

項目	件数	主な意見
信号設置	17	隣接する市や町に比べ、渋滞の頻度が多いように感じる。信号1つにしても、八街は信号機があるだけで、他の市町では時差式を導入し車線を増やし渋滞緩和の工夫が見える。そういった工夫が八街にはない。結果、イライラ運転、低マナーのドライバーによる交通事故の増加。(40歳代・女性)
		西林の平塚リースのT字路の事故防止のため、信号機の取り付けをお願いします。(30歳代・女性)
		朝陽小学校の信号機を押しボタンではなく、感應式か通常信号に変えて欲しいです。カインズホームの裏口から出てくる車も多く、道幅も狭く、大変危険です。出会い頭の事故が多発しています。(30歳代・女性)
道路脇の整備	14	車で成田方面に通勤して感じる事は道路に樹木が伸びている所が多く、道が狭く車に当たり、又交差点やミラーが見えにくい場所が多いように感じます。(50歳代・男性)
		道路が狭く歩道が整備されていないので、危険な道がたくさんあります。道幅を広げるのは難しいと思いますが、通学路だという事をドライバーにアピールする標識などの整備、車がスピードを出しすぎないように工夫、また子供達が歩きやすいようにはみ出た樹木の管理などを地域と共に行ってほしい。(30歳代・女性)
上水道の整備	11	宅地の開発をしている所を見ていると、明らかに産業廃棄物と思われるものを埋めていたりして、地下水を飲料水として使用しているので、大変不安と怒りを覚えます。是非対策を！不満いっぱいです。(40歳代・女性)
		今井戸水を飲んでいますが、亜硝酸性窒素が年々増え飲料水に適さない結果が出て非常に困っております。私達のところは集中井戸の為、浄水器をつけるのに市の補助が下りません。八街の住民なのだから希望者全員に補助が下りるよう切に希望します。まず水の問題を真剣に取り組んで欲しいと思っております。(50歳代・女性)
下水道の整備	41	八街市はまだまだ下水道の整備がなっていないので、早急にこの問題に対してどの様にしたら良いか考えて欲しい。まだ、多くの家が浸透式なので(汲み取り式)、このことが一番の問題だと思います。ぜひよろしく願いいたします。(70歳以上・女性)
		市になっても昔とあまり変わらない。下水、排水は不便。大規模な下水処理場を建設すべきである。(まず市民の生活を第一に考えるべきである。)不満で一杯(70歳以上・男性)
		上下水道の整備は当たり前のことである。(40歳代・男性)
		公共下水道の整備。汚水処理場の建設(個別浄化槽に代わる施設)(60歳代・男性)

2. 生活環境

項目	件数	主な意見
開発の抑制	8	畑の真ん中に、ミニ開発をするのではなく、大手の企業を介して、(上下水道、道路)きちんと整備して大々的に開発して欲しい。(50歳代・男性)
		宅地開発が急激に進みすぎて、道路、下水、排水の設備整備が間に合わず、不便で危険な生活を強いられているように感じています。(40歳代・女性)
騒音悪臭	6	牛の糞尿など畑に山のようにそのままにしており、夏などは南風に乗って悪臭が漂い、窓を開けることができないので、どうかこの件についてなんとかならないものかと頭を痛めています。穴を深く掘って埋めて欲しいです。雨の日などはとても汚く、茶色の水となっています。(40歳代・男性)
		通勤・通学をもっと良くすれば、八街への定住者が多くなり、市の活性化が図れる。住居地域に騒音を出すような工場は規制し、現在あるものは行政指導し騒音等を出さないようにする。(50歳代・男性)
緑の保全	22	榎戸駅南側のホーム沿いに桜の古木(樹齢50年)が約20本あり、毎年桜が満開になるのを楽しみにしていた所、いつの間にか全ての桜の木が根元から無残にも切られてなくなっていた。多少お金がかかっても、桜の木を切らずにけやきの森公園等へ移植して欲しかったと思う。あれだけの桜の木は近くにないので、非常に残念である。金がないから仕方が無いで始末せず、寄付を募るとか方法があると思う。自然を大切にすることもまちづくりの大事な仕事であると思う。行政側の意見を聞きたい。(60歳代・男性)
		とにかくすがすがしい、田園都市風景がみられる町並みにして欲しい。10年20年の長期的な都市計画を望みます。(50歳代・男性)
公園の整備	70	森林浴(出来れば地下水でも流れる水が欲しい)。その水も林の中に自然に帰し、自然で心安らく森が欲しい。空気もよし。老人がくつろげる場が良い。老人施設よりも心の安らぎを求められる場所にしたい。(70歳以上・女性)
		今健康について皆様関心が強いと思いますので、散歩コース等、安全に歩いて自然と共にゆったりとした気分の出来る大きな花いっぱい公園、文化ホール等を夢見しています。(50歳代・女性)
		他の市町村よりも、公園等の施設が非常に悪い。酒々井のスポーツ公園、山武の森公園、成田坂田ヶ池公園、四街道総合公園、千葉青葉の森公園、どこも良いものがある。(50歳代・男性)
		八街の自然をうまくいかした遊歩道、サイクリングコースなどがある、大きな公園があればと思います。(40歳代・男性)

項目	件数	主な意見
砂埃対策	17	私の住んでいる地区では、風が強い日は窓を少しも開けることが出来ません。家の中が砂だらけになってしまうからです。子供達も学校の行き帰りなどとてもかわいそうです。少しでも砂が飛ばないように、畑の周りに高めの植木を植えるとか水をまくとか農家の方がもう少し工夫して欲しいです。(30歳代・女性)
		砂埃のひどい時期には特に農家の人に花でも植えるように市が種を配って欲しい。こんなにひどい埃のまちとは思わなかった。家を買ったがローン支払いがあるため出て行けない。(50歳代・男性)
ごみ収集の改善	21	ゴミの収集ですが、祝日の日も収集してほしい。佐倉市は収集しています。休みが続くと困ります。(40歳代・男性)
		ごみ収集について、可燃ゴミは週2回、資源ゴミ、カン・ビンは月1回とするべき。収集に費用をかけすぎている。また、ゴミを減らす意識を起こさせられない。(30歳代・男性)
防犯・防災対策の強化	53	八街独自の警察署の設置。八街独自の消防署の設置。(60歳代・男性)
		警察署の設置。事故多発地帯の信号機設置。防犯灯の設置。標識の設置。道路整備。八街駅前に交番の設置。踏み切りを渡らないと交番に行く事ができない自体がおかしい。電車が走行していたらなおさら、通報があっても急行できない。行政が悪いといわれ八街市のイメージが悪くなる。ことが起きてからだと遅い。(30歳代・男性)
		一番気になるのは防犯体制。警察署も無く、犯罪増加傾向の中、早速市民参加で防犯に努めていくしかない。都会の例でもあるように、自警団を空手塾(駅前にあった)やボクシングジムのメンバーと一緒に見回ることから始めては・・・。1日も早く警察署の設置を。子供を持つ親の立場から安心して暮らせる街。生活の絶対必須条件。(30歳代・男性)
		防犯対策にしても、今ある自治会で回覧される防犯マップでは分かりづらい。具体的な内容や状況などの情報が公表されないと、噂や間違った情報に振りまわされる人もいる。市民の安全に対する配慮がまず一番になれば、市民の心は離れていく。(30歳代・女性)
		市内若しくは隣接している地域で起きた犯罪(小さな事件でも)を随時市民に知らせて欲しい。防犯になると思う。(20歳代・女性)

項目	件数	主な意見
街灯の設置	41	郊外にもっと街灯を増やし、町全体を明るくして欲しい(防犯につながる)。(60歳代・女性)
		道幅を広く、街灯を多くし明るい街にしてください。今は狭い道を車がスピードを出して走り、自転車で買い物をするものはヒヤヒヤしながら側溝へ追いやられ、側溝の蓋は欠けてひどいです。(70歳代以上・女性)
		街灯が少なく歩道も整備されているところが少ないので、夜出かける時は不安になる。街灯と歩道の整備を早く進めて欲しい。(20歳代・女性)

3. 産業経済

項目	件数	主な意見
農薬	3	農家の農薬！洗濯物を気にせずまいている姿。すんごく迷惑です。何か迷惑をかけないで農薬をまけないのでしょうか？(50歳代・男性)
農業の発展	3	安全な農産物の提供、例えば減農薬、無農薬、生産者が認定できる薬。他の生産地と差をつけたら農業の振興になると思うのですが。(60歳代・女性)
企業誘致	15	農業の町というイメージが強いが、もっと企業を誘致したほうが財政的にも豊かになるのではないのでしょうか。(税金が高いので)(50歳代・女性)
工業団地の誘致	8	八街にも工業団地が出来れば活性化につながるのでは。(50歳代・男性)
駅前商店街の発展	26	八街駅北口の工事が進んでいますが、駅ビルみたいに商店や飲食店を沢山入れてください。地元の反対とかはナンセンスです。(40歳代・女性)
		まちの活性化は駅前からではないでしょうか。駅前の雰囲気が悪い。新駅舎建設が進んでいることが大変喜ばしいが、周辺の整備及び商店街の繁栄がなされるような環境を望む。このままでは、せっかく新しい駅舎が出来ても北側の住民の便利性的みの感じがする。(50歳代・女性)
		駅周辺をもっと便利にして欲しい。コンビニ1軒でも変わってくると思う。(20歳代・女性)

4 . 地域文化

項目	件数	主な意見
スポーツ施設の整備	3	スポーツが誰でもできる施設の整備と、森林公園の設立を期待します。(50歳代・男性)
プールの設置	32	温水プールみたいなスポーツ施設があればよいと思います。また町おこしを兼ねて、温泉を掘り、共同浴場みたいなものもつくってもよいと思います。(30歳代・男性)
		ゴミの焼却の熱を利用することをなぜしないのか疑問に思います。例えば温水プール等を市民一般に無料で開放したらどんなに喜んで貰えるだろうと思います。ぜひ考えてください。(70歳以上・女性)
		レクリエーションスポーツ施設(例:温水プール、公共のスパ等)を充実させ、中高年の健康を推進する事によって、医療費が削減されればと思います。(30歳代・女性)
イベントの企画	8	八街市のまちづくりとして、他市町村から参加できる八街市オリジナルイベントの開催を実施すべき。イベントを実施する事で、お客様PRの拡大並びに市に収入が落ちるのではないかと。例えば、富里市:スイカマラソン 佐倉市:花火大会 成田市:祇園まつり 誰もが八街市といえど というイベントがあるということを知られるような企画を立案し、現実に向け考慮してください。(40歳代・男性)
		子供から老人まで誰でも参加できるボランティアや催し物を増やすといいと思います。(50歳代・女性)
文化施設の設置	36	文化的な施設が極端にすくない。退職後生涯学習が可能となるよう、在職中から徐々に参加できるような時間帯での実施を願う。(50歳代・男性)
		市民がもっと楽しめるような設備を作って欲しい。例えば設備の整った文化会館。今現在何かを楽しもうとすると東京まで行かなければならない。音楽、劇、その他近くにあれば楽しめる。(60歳代・男性)
		陸上運動場、音楽ホール、文化会館のような施設を設立し、住民の活動、教養を高める場と時間を設定し豊かな街づくりをする。(50歳代・女性)
娯楽施設・企画	17	どうして八街市は市になって随分経つのに、色んな楽しい施設がないのでしょうか?成田市も富里市も次々に温泉等でできているのに。もっと健康的な街づくりをしてほしいです。(40歳代・女性)
		八街駅北口開発を期に、駅周辺に文化会館、公園、プール等のレジャーランド(映画館、物産店など)また、農業体験ツアー、ピーナツマラソン等の行事を考え市民はもちろん、対外的にも八街に来て楽しかった。また来ようというイメージづくりを八街活性化のため是非考えて欲しい。(50歳代・女性)

項目	件数	主な意見
青少年の健全育成	6	最近八街でも犯罪が増えてきているように思います。よく公園でたむろしている少年や少女たちを見かけます。夜遅くなど、見回りなどをしてそういう子供たちへの注意などを行うべきではないでしょうか？犯罪などを減らすためにも、大人がしっかりと子供への注意などを行うべきです。（50歳代・男性）

5. 健康福祉

項目	件数	主な意見
救急病院設置	4	救急病院の新設と救急車両の増車。（30歳代・男性）
小児夜間救急の充実	8	乳幼児が急病になった時、八街市内の医院で診察してもらえそうな当番医を設けて欲しい（土・日・祭日）。（50歳代・女性）
総合病院の整備	13	八街にも北総病院、日赤のような最新医療の病院があればと思います。（50歳代・男性）
		市立総合病院（あらゆる最新の検査が実施可能）の設立。（40歳代・男性）
介護サービスの充実	5	主人は病気になって7年過ぎました。主人の場合はまだ60才前という事で介護と障害者の間になります。私は他の人に家の中に入られるのもいやなため、ヘルパーさんを頼まず1人でみています。そういう人の対応をもう少し考えてもらうわけにはいかないのでしょうか？（50歳代・女性）
介護施設の充実	8	八街市の中に老人介護がスムーズにできるような施設を増やして欲しい（特に痴呆のある人が入所できるように、低所得の人も入所できるように）。（50歳代・女性）
バリアフリー	2	障害者・高齢者にバリアフリーになれば健常者にとっても良いと思います。市の行政として思考をお願い申し上げたく存じます。死の前日まで不安の無い生活を送りたいと思います。（70歳以上・女性）
子育て世代の交流の場の設置	4	子育て支援センターをもっと充実したものにさせていただきたく思います。子供が安全に遊べ、お母さん達の交流の場として1日（月～土）開放している場。他市ではかなり良いものがありました。（20歳代・女性）
保育環境の充実	10	少子化対策 - 未来の八街市を担う子供が増える様、住みやすい街づくりと共に、乳幼児の保育環境の整備。資金援助に力を入れて欲しい。（50歳代・男性）
		昔に戻す一歩として、学童保育を多くし、働いていない親の子供達も一緒に遊ぶところを作る。（50歳代・女性）

6 . 行政

項目	件数	主な意見
公聴機会の 充実	18	市民の意見をもっと聞くべき。市民の意見を聞くだけで何も変わらない。実行しなければ意味が無い。市長さん、しっかりしてください！！このアンケートの結果を市民に伝えて欲しい。そして、活かしてください。（30歳代・男性）
		以前市長宛の「はがき（意見や希望）」が年1回配布されておりました。いつのまにか配布されなくなってしまい残念です！是非この「はがき」を復活させて欲しいと思います。市役所に対して要望なり、意見があっても言う場所（機会）がありません。窓口に行って交渉してもしょうがないし、良い方法を考えてください！（40歳代・女性）
市民との 協働	6	八街市の街づくりは、市民だけ行政だけで進めていく事が出来ません。いい意味で行政は市民を使い、市民も行政を利用する関係が良いのではないのでしょうか。どうしていいのかわからなくなったらアイデアを募集しても良いと思います。公募：恥ずかしくありません。お金が無ければ企業のスポンサーを募集する。（40歳代・男性）
長期的視野	4	将来まちづくりについては、ある程度長期的な視野に立って早急でなくて良いから、的確な将来の予測をして出来る事から行って欲しい。（50歳代・男性）
行政改革	4	デフレ時代の今、もう一度八街という土地柄を見直し画期的な行政をうつこと。他の市等がやることを真似ていても発展なし。（50歳代・男性）
身近な改善	2	「大きな町にしよう」とか「都会的にしよう」とかしないで、現状で改善できる所から始めて欲しい。直すべきところが多々あるにも関わらず、とんちんかんな所から手をつけているように思える。もっと地に足をつけて町づくりを考えて欲しい。（20歳代・男性）
休日・夜間の 窓口業務	6	土日や平日5時以降の窓口業務の対応をお願いしたい。（30歳代・女性）
図書館の利 用時間延長	6	図書館の土日営業、夜間8：00までの開館。（20歳代・男性）
財政運営	4	すべてのことを行おうとすると、財政的にもかなりの負担となるが、1つの事業に集中的に単年度で資金投入することにより、現在よりも施設、制度の強化、拡充が結果、良い方向に進むと考えられる。（30歳代・男性）

項目	件数	主な意見
合併	3	合併の話題が出てきませんが、補助金の削減等が行われた場合、市民サービスの低下を招くことなく対応が出来るのですか。たとえ市役所の職員を半減させても難しいと思いますが、合併についての情報が市民に全く伝わってこないのはなぜですか。(50歳代・男性)
議員数	6	各議員において、公約の実現に努力していただきたい。議員定数削減を。(50歳代・男性)
情報提供	19	永住希望者である。市全体でのイメージ作りや現在の環境を活用したPRが不足しているのではないかと八街だから、8つのポリシーを策定して、中長期計画を策定したら良いのではないかと。他市町村等でできないことを”やっちゃった”という発想が欲しい。温故知新が基本。(60歳代・男性)
		この意識調査を通して様々な声があがると思われるが、真摯に受け止め実際に取り組んで頂きたい。また、意識調査の結果を広報を通じて詳細に発表して頂きたい。当面の課題としては、徹底的に見直す点や改善点を浮き彫りにし、1つずつ表してもらいたい。今後のまちづくりに期待しています。(20歳代・男性)
職員対応	16	1年前に当市に移りました。市役所窓口の対応の良さに驚きました。私は旧来の役所イメージを当市に来て初めてめぐりました。(50歳代・男性)
		一部の職員だが、窓口での受け答えが不親切な所があり、身近ですぐ直していけるところから始めてほしい。(30歳代・女性)
職員の資質向上	10	八街市は旧体制で封建的な考えの人が多く、その人達を中心に物事を進めている。行政当局もまわりの市町村と比較して八街市は全ての面で遅れていると感じて欲しい。口を開けば金がない、という。金がないから何もできないのではなく、いかに補助金を利用して出来るか市の職員ももう少し勉強して活動して欲しい。八街市に要望しても何もしてくれない。やる気のない市役所という声をよく耳にするが、早く汚名返上して欲しい。(60歳代・女性)
公用車	4	市長が高級車に乗るのは良いが、現在使用している車はあまりにも高すぎると思う。せめて6~700万位の車で良いのではないかと。もっと福祉や道路整備の方にお金を使うべきだと思います。(50歳代・男性)
市内巡回	3	こういうアンケートも一つの手段だと思いますが、市職員が町の中を自分で歩き、自分の目で見てそこに住む人の立場で考える機会を作ったらいかがでしょうか？もっと住みやすい町になる事を期待します。頑張ってください。(30歳代・男性)

項目	件数	主な意見
税金	11	国民健康保険税が高すぎる。街づくりを考える前に、市民の納税について考えるべきだ。(40歳代・男性)
		税金が高いので、少しでも安くして欲しい。(40歳代・女性)
防災無線	10	防災八街の夜中の使用を検討してもらいたい。(50歳代・男性)
		市の非常放送(火事などのスピーカーで教えるもの)。外に出ても全く聞こえない。何を言っているのか小さくてわからない。非常の意味が無いのでは?(60歳代・女性)
道の駅	3	道路脇にも農道にも駅にも街全体で花がいつも咲いている、なごみを感じる街になって欲しい。八街にも名産品を置ける道の駅を作って欲しい。(50歳代・女性)
市のPR	9	八街市を全国的にアピールしたいと思います。例えば、農業が主体の街。人参、落花生、その他野菜は千葉県でも上位、全国的にも。地理的に恵まれない街。千葉県の真ん中、ヘソ。全県にも地理的に恵まれない県のヘソの街があると思う。全国に八街市ありをアピールする。(20歳代・男性)

八街市のまちづくりについて みなさまのご意見をお聞かせください

「八街市 市民意識調査」へのご協力をお願い

市民のみなさまには、日ごろから市政に対して深いご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

八街市では、いま、今後20年の将来にわたるまちづくりの指針となる総合計画の策定を行っております。

今回お願いいたします「八街市市民意識調査」は、まちづくりに対する市民のみなさまからのご意見やご意向をお聞きし、計画づくりの基礎資料とするために行うものです。

調査の実施に当たり、市内にお住まいの満20歳以上の方3,000人を無作為に抽出しましたところ、あなたを対象とさせていただくこととなりました。

調査票は無記名であり、調査結果は統計的に処理いたしますので、ご回答いただいたみなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

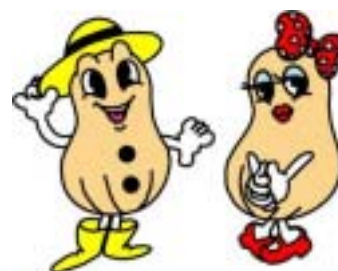
平成15年9月

八街市長 長谷川 健一

調査票のご記入にあたってのお願い

1. あて名のご本人がお答えください。
2. ありのままのお考えをご記入ください。
3. 回答は、最初から1問ずつ順番に従って、すべての質問にお答えください。
4. 設問ごとに、お願いしている回答方法に従って、あてはまる数字を で囲んでください。
5. 「その他()」に該当する項目は、()の中に具体的にご記入ください。
6. ご記入いただきましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、
9月30日(火)までにご投函ください。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
八街市役所 総務部 企画課 企画係
TEL (443) 1114 (直通)



問6 あなたのお住まいの周辺の環境や日常生活についておうかがいします。

1) から 26) の項目について、あなたのお気持ちに一番近いものを 1 ~ 5 の中からひとつ選び をつけてください。

	満足	いど えち らば 満か 足と	いど えち らば 不 満と	不 満	わ か ら な い
1) 身近な生活道路の整備について	1	2	3	4	5
2) 国道・県道などの主要道路の整備について	1	2	3	4	5
3) バス・鉄道などの交通機関について	1	2	3	4	5
4) 交通安全(歩道や街路灯など)や防犯について	1	2	3	4	5
5) 飲み水について	1	2	3	4	5
6) 家庭排水・し尿の処理について	1	2	3	4	5
7) 雨水の処理について	1	2	3	4	5
8) ゴミ処理について	1	2	3	4	5
9) 騒音・振動・悪臭などの生活環境について	1	2	3	4	5
10) 基幹産業としての農業の振興について	1	2	3	4	5
11) 暮らしをささえる商業の振興について	1	2	3	4	5
12) 産業振興による働く場の確保について	1	2	3	4	5
13) 日常の買い物の便利さについて	1	2	3	4	5
14) 公園や子どもの遊び場について	1	2	3	4	5
15) 地震・災害等の防災対策について	1	2	3	4	5
16) 小・中学校などの教育について	1	2	3	4	5
17) 集会所や公民館など集会施設について	1	2	3	4	5
18) スポーツ・レクリエーション施設について	1	2	3	4	5
19) 図書館などの文化施設について	1	2	3	4	5
20) 生涯学習や文化活動について	1	2	3	4	5
21) 市民検診など日常の保健活動について	1	2	3	4	5
22) 病院・医院の整備について	1	2	3	4	5
23) 子育て支援について	1	2	3	4	5
24) 高齢者福祉について	1	2	3	4	5
25) 福祉施設について	1	2	3	4	5
26) 八街市全体の住みやすさについて	1	2	3	4	5

問6 - 1 問6でお聞きした項目の中で、優先的に実施して欲しいと思うものはどれですか。次の中から3つまで選びをつけてください。

1. 身近な生活道路の整備について
2. 国道・県道などの主要道路の整備について
3. バス・鉄道などの交通機関について
4. 交通安全(歩道や街路灯など)や防犯について
5. 上水道の整備について
6. 家庭排水・し尿の処理について
7. 雨水の処理について
8. ゴミ処理について
9. 騒音・振動・悪臭などの生活環境について
10. 基幹産業としての農業の振興について
11. 暮らしをささえる商業の振興について
12. 産業振興による働く場の確保について
13. 日常の買い物の便利さについて
14. 公園や子どもの遊び場について
15. 地震・災害等の防災対策について
16. 小・中学校などの教育について
17. 集会所や公民館など集会施設について
18. スポーツ・レクリエーション施設について
19. 図書館などの文化施設について
20. 生涯学習や文化活動について
21. 市民検診など日常の保健活動について
22. 病院・医院の整備について
23. 子育て支援について
24. 高齢者福祉について
25. 福祉施設について
26. その他()

問7 あなたは、これからも八街市に住み続けたいと思いますか。ひとつ選びをつけてください。

- 1. ずっと住み続けたい <問7-1へお進みください>
- 2. 当分住み続けたい <問7-1へお進みください>
- 3. できれば移転したい <問7-2へお進みください>
- 4. 移転したい <問7-2へお進みください>
- 5. わからない <問8へお進みください>

問7-1 問7で「1. ずっと住み続けたい」「2. 当分住み続けたい」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。3つまで選びをつけてください。

- 1. 生活環境がよい
- 2. 交通の便がよい
- 3. 日常生活が便利
- 4. 安定した職場がある
- 5. 通勤が便利
- 6. 自然が多い
- 7. 教育環境がよい
- 8. 医療や福祉が充実している
- 9. 余暇を楽しむ施設がある
- 10. 人間関係がよい
- 11. その他 ()

問7-2 問7で「3. できれば移転したい」「4. 移転したい」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。3つまで選びをつけてください。

- 1. 生活環境が悪い
- 2. 交通の便が悪い
- 3. 日常生活が不便
- 4. 安定した職場がない
- 5. 通勤が不便
- 6. 自然が少ない
- 7. 教育環境が悪い
- 8. 医療や福祉が不安
- 9. 余暇を楽しむ施設が少ない
- 10. 人間関係がよくない
- 11. その他 ()

問8 あなたは八街市に対して「自分のまち」としての愛着を感じていますか。ひとつ選びをつけてください。

- 1. 感じている
- 2. やや感じている
- 3. あまり感じていない
- 4. 感じていない
- 5. わからない

問 9 あなたは八街市のイメージをどのようにお考えですか。次の 1) から 14) の項目について、1 から 4 の中からひとつ選び をつけてください。

	そう 思う	やや 思う	さ ほ ど 思 わ な い	思 わ な い
1) 個性的なまち	1	2	3	4
2) 福祉がゆきとどいたまち	1	2	3	4
3) 清潔できれいなまち	1	2	3	4
4) 安全なまち	1	2	3	4
5) 交通の便がよいまち	1	2	3	4
6) 公害が少ないまち	1	2	3	4
7) 連帯感・人情味があるまち	1	2	3	4
8) 自然の豊かなまち	1	2	3	4
9) 活気のあるまち	1	2	3	4
10) 生活するのに便利なまち	1	2	3	4
11) 発展を続ける現代的なまち	1	2	3	4
12) 文化的なまち	1	2	3	4
13) 教育環境のよいまち	1	2	3	4
14) 遊ぶところの多いまち	1	2	3	4

問 9 - 1 あなたが持つ八街市のイメージをご自由にお書きください。

問 10 市の将来像として、八街市はどのようなまちに発展したらよいと思いますか。3つまで選び をつけてください。

- 1 . 誰もが自立し、健康で元気に暮らせるまち
- 2 . 産業の発展した活気のあるまち
- 3 . 子どもたちを育てる環境のよいまち
- 4 . 地域の住民が助け合うまち
- 5 . 福祉の充実した安心して暮らせるまち
- 6 . 快適なまちなみや便利さを備えたまち
- 7 . 農業を活かし、自然と調和した緑の多いまち
- 8 . 交通事故・犯罪の少ないまち
- 9 . その他 (

)

ここからは、個別の行政施策についておうかがいします。

問 11 あなたは、環境を守るため、今後、行政がすべきことは何だと思いますか。
次の中から3つまで選んで をつけてください。

- 1 . 騒音・振動・悪臭などの防止対策を強化する
- 2 . ごみの不法投棄などの防止対策を強化する
- 3 . ごみの減量やリサイクル意識の啓発活動をする
- 4 . 学校教育や生涯学習の場での環境教育に力を入れる
- 5 . 再生品の利用を促進する
- 6 . 広報誌などで環境問題に関する情報を提供する
- 7 . 公共施設での省エネルギー対策や低公害車導入などを進める
- 8 . 粗大ごみや一般ごみの収集を有料化とする
- 9 . 環境を壊すようなことをした場合に罰則をあたえる制度を導入する
- 10 . カンやビンに預かり金を上乗せして、回収時に払い戻す制度を促進する
- 11 . 太陽光や風などの自然エネルギーの活用を進める
- 12 . その他 ()

問12 防災対策として市に期待することはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つまで選び をつけてください。

- 1 . 防災マニュアル・マップの配付
- 2 . 防災対策講習会の開催
- 3 . 地域防災訓練の実施
- 4 . 災害時の情報連絡手段の整備
- 5 . 食料・水・日常生活用品の備蓄
- 6 . 企業と連携した生活物資等の確保
- 7 . 避難所など防災拠点の整備
- 8 . 地域防災組織の育成
- 9 . その他 ()

問 19 「まちづくり」には、市民のみなさまの活動や参加が不可欠です。「市民の誰もが何かを受け持つ」としたら、あなたはどのような活動をしたい(できる)とお考えですか。次の中から3つまで選び をつけてください。

1. 美しいまちをつくり、自然環境を守るための《花いっぱい運動や自然保護活動》
2. 資源のムダをなくし、自然を大切にする《リサイクル活動や省資源活動》
3. 文化祭、体育祭に参加し、近所づきあいを大切にする《地区コミュニティ活動》
4. 高齢者や困っている人たちへの《福祉ボランティア活動》
5. 子供会やPTA、健全育成組織等を通じた《児童・青少年の育成活動》
6. スポーツ・保健事業への参加・協力など《健康なまちづくり活動》
7. 安全に暮らせるまちをめざす《交通安全・防犯・防災活動》
8. お祭りや郷土の歴史・文化を学び、後世に伝える《歴史・文化活動》
9. まちづくりの研究や市の計画検討の場への参加など《まちづくりの推進役》
10. その他()
11. 参加したい活動はない

問 20 市政やまちづくりにおける市民の参加を進めていくために、必要だと思うことは何ですか。次のうちから3つまで選び をつけてください。

1. 広報やホームページ等で参加に関する情報提供が行われる
2. 活動のリーダーや団体が組織されている
3. 活動の場となる施設がある
4. 活動するための資金的な支援がある
5. 市役所に参加受付窓口がある
6. 自分たちのアイデアを市に提案できる機会が身近にある
7. 勤めていても参加できる時間帯に活動が行われる
8. 活動中の事故などについての保障制度がある
9. 家族の理解が得られる
10. その他()

問 21 最近、新聞などで市町村合併の問題が報道されていますが、あなたは八街市の市町村合併についてどのようにお考えですか。ひとつ選びをつけてください。

- 1. 検討するべきだ <問 21 - 1 へお進みください>
- 2. どちらかといえば検討するべきだ <問 21 - 1 へお進みください>
- 3. どちらかといえば現在の市のままでよい <問 21 - 2 へお進みください>
- 4. 現在の市のままでよい <問 21 - 2 へお進みください>
- 5. 現時点では判断できない <問 22 へお進みください>

問 21-1 問 21 で「1. 検討するべきだ」「2. どちらかといえば検討するべきだ」と回答した方におうかがいします。合併を検討したほうがよい理由は何ですか。次の中から3つまで選びをつけてください。

- 1. 市の規模が拡大することにより、行財政基盤が強化されるから
- 2. 利用できる役所の窓口や図書館などの公共施設が増えて便利になるから
- 3. すでに生活圏は広がっており、交流の高い地域と一体化したまちづくりができるから
- 4. 国際化・情報化など専門的な分野の行政サービスが増えるから
- 5. 組織が合理化し経費が削減できるから
- 6. 地域のイメージアップになるから
- 7. 公共料金が安くなるから
- 8. その他()

問 21-2 問 21 で「3. どちらかといえば現在の市のままでよい」「4. 現在の市のままでよい」と回答した方におうかがいします。合併をしないほうがよい理由は何ですか。次の中から3つまで選びをつけてください。

- 1. 八街市の自助努力により財政状況は改善できるし、合併するとかえって悪化すると思うから。
- 2. 八街市内で生活するうえでの用事は足りているから
- 3. 中心部だけがよくなり、周辺部が取り残されるから
- 4. 文化や伝統・まちのコミュニティなどが損なわれるから
- 5. 市民の意見が反映しにくくなるから
- 6. 税金や公共料金が上がるから
- 7. 自分のまちの名前がなくなってしまうことがあるから
- 8. その他()

問 22 あなたは、八街市の行政運営に対して、特にどのようなことを要望しますか。次の中から3つまで選びをつけてください。

1. 窓口や電話などの対応の改善
2. 問い合わせや提案に対する迅速な回答・わかりやすい説明
3. 土日や平日 5 時以降の窓口業務の対応
4. 公民館など身近な施設で受けられる行政サービスの拡大
5. 1ヶ所の窓口で用事が済むような体制・仕組みづくり
6. 広報・公聴活動の充実や計画づくりなどへの参加機会の拡充
7. インターネットを使った情報提供や各種届出・申請の仕組みづくり
8. 行政運営の効率化や業務改善・職員の意識改革
9. その他()

最後に、八街市のまちづくりについてアイデアやご意見があれば、どのようなことでも結構ですのでご自由にご記入ください。

お忙しいところ最後まで多数の質問にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、9月30日(火)までに投函してください。